

豊春中学校校舎トイレ改修工事

図面リスト											
〔 意 匠 図 〕					〔 電 気 設 備 図 〕			〔 機 械 設 備 図 〕			
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
A-01	特記仕様書 (改修その1)		A-38	普通教室棟 1階平面図(改修前・改修後)	1:200	E-01	電気設備工事特記仕様書	—	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	—
A-02	特記仕様書 (改修その2)		A-39	普通教室棟 2階平面図(改修前・改修後)	1:200	E-02	幹線・弱電設備1階平面図(特別教室棟)改修前	1:50	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	—
A-03	特記仕様書 (改修その3)		A-40	普通教室棟 3階平面図(改修前・改修後)	1:200	E-03	幹線・弱電設備1階平面図(特別教室棟)改修後	1:50	M-03	案内・仮設計画図・外構図	1:500
A-04	特記仕様書 (改修その4)		A-41	普通教室棟 R、PHR階平面図	1:200	E-04	幹線・コンセント設備職員トイレ1階平面図(特別教室棟)改修後	1:50	M-04	改修前 機器表・器具表	—
A-05	特記仕様書 (改修その5)		A-42	普通教室棟 トイレ 平面詳細図(改修前・改修後)	1:30	E-05	電灯設備職員トイレ1階平面図(特別教室棟)改修前	1:50	M-05	改修後 機器表・器具表	—
A-06	特記仕様書 (改修その6)		A-43	普通教室棟 トイレ 矩形図1(改修前・改修後)	1:30	E-06	電灯設備職員トイレ1階平面図(特別教室棟)改修後	1:50	M-06	改修前後 系統図	1:100
A-07	特記仕様書 (改修その7)		A-44	普通教室棟 トイレ 矩形図2(改修前・改修後)	1:30	E-07	幹線・コンセント設備1~3階トイレ平面図(特別教室棟)改修後	1:50	M-07	管理普通特別教室棟 1階平面図	1:200
A-08	特記仕様書 (改修その8)		A-45	普通教室棟 男子トイレ 展開図(改修前・改修後)	1:50	E-08	電灯コンセント設備1~3階トイレ平面図(特別教室棟)改修前・改修後	1:50	M-08	管理普通特別教室棟 2階平面図	1:200
A-09	設計概要書		A-46	普通教室棟 女子トイレ 展開図(改修前・改修後)	1:50	E-09	自火報設備1階職員トイレ平面図(特別教室棟)改修前	1:50	M-09	管理普通特別教室棟 3階平面図	1:200
A-10	案内図・配置図	1:500	A-47	普通教室棟 トイレ 天井伏図(改修前・改修後)	1:50	E-10	自火報設備1階職員トイレ平面図(特別教室棟)改修後	1:50	M-10	管理普通特別教室棟 屋根伏図	1:200
A-11	内部仕上表1		A-48	普通教室棟 トイレ 建具キープラン(改修前・改修後)	1:50	E-11	幹線・コンセント設備1~3階平面図(普通教室)改修後	1:50	M-11	管理普通特別教室棟 1階トイレ詳細図	1:30
A-12	内部仕上表2		A-49	普通教室棟 トイレ 建具表1【撤去1】	1:50	E-12	電灯設備普通教室棟トイレ平面図(改修前・改修後)	1:50	M-12	管理普通特別教室棟 2-3階トイレ詳細図	1:30
A-13	管理普通特別教室棟 1階平面図(改修前・改修後)・仮設計画図(参考図)	1:200	A-50	普通教室棟 トイレ 建具表2【新設1】	1:50	E-13	動力・電灯コンセント設備受水槽平面図(改修前・改修後)	1:50	M-13	管理普通特別教室棟 職員トイレ詳細図	1:30
A-14	管理普通特別教室棟 2階平面図(改修前・改修後)・仮設計画図(参考図)	1:200	A-51	普通教室棟 トイレ 建具表3【新設】	1:50	E-14	動力設備高架水槽PHF階平面詳細図(改修前・改修後)	1:50	M-14	普通教室棟 1階平面図	1:200
A-15	管理普通特別教室棟 3階平面図(改修前・改修後)・仮設計画図(参考図)	1:200	A-52	部分詳細図1	1:10,20	E-15	仮設トイレ電気設備	1:200	M-15	普通教室棟 2階平面図	1:200
A-16	管理普通特別教室棟 R階平面図	1:50	A-53	部分詳細図2	1:10,20				M-16	普通教室棟 3階平面図	1:200
A-17	管理普通特別教室棟 屋根伏図	1:30	A-54	部分詳細図3	1:10,20				M-17	普通教室棟 屋根伏図	1:200
A-18	管理普通特別教室棟 職員トイレ 平面詳細図(改修前・改修後)	1:30	A-55	部分詳細図4	1:10,20				M-18	普通教室棟1階トイレ詳細図	1:30
A-19	管理普通特別教室棟 職員トイレ 矩形図1(改修前・改修後)	1:30	A-56	部分詳細図5	1:2,5,10				M-19	普通教室棟2-3階トイレ詳細図	1:30
A-20	管理普通特別教室棟 職員トイレ 矩形図2(改修前・改修後)	1:30	A-57	部分詳細図6	1:3,20				M-20	改修前後受水槽詳細図	1:30
A-21	管理普通特別教室棟 職員トイレ 展開図1(改修前・改修後)	1:50	A-58	仮設計画図(参考図)	1:500						
A-22	管理普通特別教室棟 職員トイレ 展開図2(改修前・改修後)	1:50	A-59	仮設トイレ図	1:50・100						
A-23	管理普通特別教室棟 職員トイレ 展開図3(改修前・改修後)	1:50	A-60	受水槽フェンス詳細図	1:20						
A-24	管理普通特別教室棟 職員トイレ 天井伏図(改修前・改修後)	1:50	A-61	受水槽廻り詳細図	1:30						
A-25	管理普通特別教室棟 トイレ 平面詳細図(改修前・改修後)	1:30									
A-26	管理普通特別教室棟 トイレ 矩形図1(改修前・改修後)	1:30									
A-27	管理普通特別教室棟 トイレ 矩形図2(改修前・改修後)	1:30									
A-28	管理普通特別教室棟 男子トイレ 展開図(改修前・改修後)	1:50									
A-29	管理普通特別教室棟 女子トイレ 展開図(改修前・改修後)	1:50									
A-30	管理普通特別教室棟 トイレ 天井伏図(改修前・改修後)	1:50									
A-31	管理普通特別教室棟 職員トイレ建具キープラン(改修前・改修後)	1:50									
A-32	管理普通特別教室棟 男女トイレ建具キープラン(改修前・改修後)	1:50									
A-33	管理普通特別教室棟 建具表1【撤去1】	1:50									
A-34	管理普通特別教室棟 建具表2【撤去2】	1:50									
A-35	管理普通特別教室棟 建具表3【新設1】	1:50									
A-36	管理普通特別教室棟 建具表4【新設2】	1:50									
A-37	管理普通特別教室棟 建具表5【新設3】	1:50									
小計 61枚					小計 15枚			小計 20枚			
合計 96枚											

6	改質アスファルトシート防水	<p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>P-1E</td> <td>E-1</td> <td></td> <td>保護層・設ける</td> </tr> <tr> <td>P-2E</td> <td>E-2</td> <td></td> <td>設けない</td> </tr> </table> <p>・E-1の工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示</p> <p>屋根露出防水(既存) [3.4.2, 3] 新設防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [9.2.1~3]</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4AS</td> <td>AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M3AS</td> <td>AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置)</td> </tr> <tr> <td>AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M3ASI</td> <td>ASI-T1</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>ASI-J1</td> <td>(厚さ)</td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> </table> <p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※[表3.4.1]から[表3.4.3]による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個) 絶縁断熱工法の防湿シート 設置する・設置しない</p> <p>新設防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [3]</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">POS</td> <td>S-F1</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">S4S</td> <td>S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F1</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F2</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4SI</td> <td>S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F1</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ</td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4SI</td> <td>S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>S1-M2</td> <td>(厚さ)・25mm・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚(※1.5mm) S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用・軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム(設置する・設置しない)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>改修工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>P1S</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td>平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下</td> </tr> </table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ () mm 目地割り (※2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類(※押し目地) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>接着工法の目地処理 PCコンクリート下地の場合 () PCコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) 行う(図示)・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2, 3]</p> <p>ウレタンゴム系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">POX</td> <td>X-1</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	備考	P-1E	E-1		保護層・設ける	P-2E	E-2		設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1~3]	仕上塗料	備考	M4AS	AS-T1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様		AS-T2					AS-J2					M3AS	AS-T3			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置)	AS-T4					AS-J1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	M3ASI	ASI-T1	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	ASI-J1	(厚さ)			(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考	POS	S-F1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	S-F2					S-M1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	S4S	S-M2					S-M3					S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4S	S-F2	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地				S-M1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4SI	S-M2					S-M3					S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ	(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4SI	S-F2				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	S1-M2	(厚さ)・25mm・50mm				改修工法	種別	施工箇所	保護層	P1S	S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	POX	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	X-2				X-1H				OL4X	X-2H				X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	OL4X	X-2				X-1H				OL4X	X-2H			
	工法	種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																								
	P-1E	E-1		保護層・設ける																																																																																																																																																																																								
	P-2E	E-2		設けない																																																																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所	断熱材 [9.2.1~3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																							
M4AS	AS-T1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様																																																																																																																																																																																								
	AS-T2																																																																																																																																																																																											
	AS-J2																																																																																																																																																																																											
M3AS	AS-T3			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置)																																																																																																																																																																																							
	AS-T4																																																																																																																																																																																											
	AS-J1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M3ASI	ASI-T1	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
	ASI-J1	(厚さ)			(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																							
POS	S-F1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
	S-F2																																																																																																																																																																																											
	S-M1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
S4S	S-M2																																																																																																																																																																																											
	S-M3																																																																																																																																																																																											
	S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4S	S-F2	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地																																																																																																																																																																																										
	S-M1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4SI	S-M2																																																																																																																																																																																											
	S-M3																																																																																																																																																																																											
	S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ	(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4SI	S-F2				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
	S1-M2	(厚さ)・25mm・50mm																																																																																																																																																																																										
改修工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																									
P1S	S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下																																																																																																																																																																																									
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																								
POX	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																								
	X-2																																																																																																																																																																																											
	X-1H																																																																																																																																																																																											
OL4X	X-2H																																																																																																																																																																																											
	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																								
OL4X	X-2																																																																																																																																																																																											
	X-1H																																																																																																																																																																																											
OL4X	X-2H																																																																																																																																																																																											
	7	合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>新設防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材 [3]</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">POS</td> <td>S-F1</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">S4S</td> <td>S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F1</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4S</td> <td>S-F2</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4SI</td> <td>S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F1</td> <td>ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ</td> <td>(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">M4SI</td> <td>S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>S1-M2</td> <td>(厚さ)・25mm・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない S-M2で立上り面を接着工法とする場合 立上り面のシート厚(※1.5mm) S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用・軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム(設置する・設置しない)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>改修工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>P1S</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td>平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下</td> </tr> </table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ () mm 目地割り (※2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類(※押し目地) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>接着工法の目地処理 PCコンクリート下地の場合 () PCコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) 行う(図示)・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2, 3]</p> <p>ウレタンゴム系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">POX</td> <td>X-1</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1</td> <td></td> <td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td> <td>(脱気装置) 設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-1H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">OL4X</td> <td>X-2H</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考	POS	S-F1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	S-F2					S-M1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	S4S	S-M2					S-M3					S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4S	S-F2	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地				S-M1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4SI	S-M2					S-M3					S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ	(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	M4SI	S-F2				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない	S1-M2	(厚さ)・25mm・50mm				改修工法	種別	施工箇所	保護層	P1S	S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	POX	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	X-2				X-1H				OL4X	X-2H				X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない	OL4X	X-2				X-1H				OL4X	X-2H																																																															
工法		種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																						
POS		S-F1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																						
		S-F2																																																																																																																																																																																										
	S-M1				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
S4S	S-M2																																																																																																																																																																																											
	S-M3																																																																																																																																																																																											
	S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地		(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4S	S-F2	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地																																																																																																																																																																																										
	S-M1			(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4SI	S-M2																																																																																																																																																																																											
	S-M3																																																																																																																																																																																											
	S-F1	ﾌﾟﾗｽﾄｯｸｸﾞﾗｯﾄﾞ下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ﾌﾞﾗｽﾀｯｸ	(種類・使用量) ※改質アスファルトの製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
M4SI	S-F2				(改修用ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
	S1-M2	(厚さ)・25mm・50mm																																																																																																																																																																																										
改修工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																									
P1S	S-C1		平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下																																																																																																																																																																																									
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																								
POX	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																								
	X-2																																																																																																																																																																																											
	X-1H																																																																																																																																																																																											
OL4X	X-2H																																																																																																																																																																																											
	X-1		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) 設ける・設けない																																																																																																																																																																																								
OL4X	X-2																																																																																																																																																																																											
	X-1H																																																																																																																																																																																											
OL4X	X-2H																																																																																																																																																																																											
	8	塗膜防水	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>各工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>P1Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>設ける・設けない</td> </tr> </table> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※設置する(ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない</p>	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない	P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																						
工法		種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																																							
P1Y		※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
P2Y		※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																											
ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																																																																																																																																																																																											
ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																																																																																																																																																																																											
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																																																																																																																																																																																											
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																																											
9	シーリング	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>各工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>P1Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>設ける・設けない</td> </tr> </table> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※設置する(ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない</p>	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない	P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																							
	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																																							
	P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
	P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	設ける・設けない																																																																																																																																																																																							
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																											
ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																																																																																																																																																																																											
ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																																																																																																																																																																																											
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																																																																																																																																																																																											
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																																											
10	とい	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※設置する(ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない</p>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																						
	施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																										
	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																																																																																																																																																																																										
	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																																																																																																																																																																																										
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																																																																																																																																																																																											
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																																											
11	アルミニウム製笠木	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※設置する(ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない</p>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																						
	施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																										
	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																																																																																																																																																																																										
	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																																																																																																																																																																																										
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																																																																																																																																																																																											
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																																											
12	防水工事施工票	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※設置する(ヶ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) ・設置しない</p>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																						
	施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																										
	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																																																																																																																																																																																										
	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																																																																																																																																																																																										
種類	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																										
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																																																																																																																																																																																											
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																																																																																																																																																																																											
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																																																																																																																																																																																											

4-1	既存モルタル塗りの撤去	<p>高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する・適用しない 脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による 種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2, 3, 7, 8] ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドプラーカ張り ・エッジング材張り シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>ライニング面、ケイカル板</td> <td>変形シリコーン(MS-1)</td> </tr> <tr> <td>ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り</td> <td>シリコーン系(SR-1)</td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>その他の材種等 [3.8.2, 3] ※配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル管・ルーフトレン ・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類) ・形状 ※改修標準仕様書3.8.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) ※市販品 取付け簡略 ※改修標準仕様書3.8.2による 多雪地域・適用する・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 既存のときのその他の撤去及び降雨等に対する養生方法・図示 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用たて形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形1型</td> <td>※ねじ込み式 ・80・100・125・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・80・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>※ねじ込み式 ・50・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 ・オープン形式(・押出し250形・押出し300形・押出し350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅: () mm、板厚: (2.0mm) mm</p> <p>表面処理 種類 着色 標準色(アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・特注色 () ・行わない 既存笠木等の撤去 行う(範囲)・図示 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 </p>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)	種類	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100		・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100	
	施工箇所	シーリング材の種類(記号)																					
	ライニング面、ケイカル板	変形シリコーン(MS-1)																					
	ガラス張り、床目地、洗面器排水流し廻り	シリコーン系(SR-1)																					
種類	呼び	施工箇所																					
・ろく屋根用たて形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																						
・ろく屋根用横形1型	※ねじ込み式 ・80・100・125・150																						
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50・80・100																						
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50・75・100																						

<p>5 ① 改修工法 [5.1.3]</p> <p>2 防火戸 [5.1.4]</p> <p>3 見本の製作等 [5.1.5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5.1.7]</p> <p>⑤ アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.1, 2]</p> <p>6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]</p> <p>7 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>⑧ 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.4.2, 4][表5.4.2]</p> <p>⑨ 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2~4]</p>	<p>10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>11 木製建具 [5.7.2~4]</p> <p>⑫ 建具用金物 [5.8.1~3]</p> <p>13 鍵 [5.8.4]</p> <p>14 自動ドア開閉装置 [5.9.2, 3]</p> <p>⑬ 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]</p> <p>16 重量シャッター [5.11.2, 3]</p>	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット 適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 [5.7.2~4] 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 []</td> <td>表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 []</td> <td>樹種名() 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 []</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF []</td> <td>接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の引合せかまのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種別(・I型・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ・建具表による</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1~3] ※[表5.8.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ◎建具表による ・図示</p> <p>錠前類 シリンダ錠錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ錠</p> <p>マスターキー ・製作する(・新規・既存マスター合わせ) ・製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き) 鍵箱 ・無 ・有</p> <p>戸の開閉方式 [5.9.2, 3] ・建具表による ・引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・種類、開閉方式() ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防錆() ・電源() ・車椅子使用者用便房出入口引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧() ・防錆() ・防滴()</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行方 ・行わない</p> <p>性能 ※[表5.10.1]による [5.10.3]</p> <p>シャッターの種類 [5.11.2, 3] ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター 外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度() Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による)</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 []	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)		・天然木化粧合板 []	樹種名() 接着の程度(・1類・2類)		・特殊加工化粧合板 []	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板		・MDF []	接着の程度(・1類・2類)		<p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1</p> <p>17 軽量シャッター [5.12.2~4]</p> <p>開閉方式の種類 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2~4] 耐風圧強度() Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) () スラットの材質の種類 めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.13.2, 3]</p> <p>18 オーバーヘッドドア [5.13.2, 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による強さの区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※バランス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.14.2~4]</p> <p>⑬ ガラス</p> <p>○フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>○型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p> <p>・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 直射取得性及び直射遮断性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 直射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (直射熱遮へい性が2種の場合) ・A種 ・B種</p> <p>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 ○シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による</p> <p>樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による</p> <p>20 ガラスブロック [5.14.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅(mm)</th> <th>伸縮調整目地位置(mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状横筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー ・シリンダの種類 SS-1 ・PS-1 金属化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による</p> <p>⑭ ガラス用フィルム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内貼り用</th> <th>外貼り用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・日射調整フィルム []</td> <td>※SC-1</td> <td>SC-2</td> <td>可視光線透過率:65%以上</td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス</td> <td>・G1-1</td> <td>・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間変位破壊対応ガラス</td> <td>・GD-1</td> <td>・GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759 による 熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要</p>	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	ステンレス鋼板		・50		・パーチカル形		呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					種類	記号		その他性能等	内貼り用	外貼り用	・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2	可視光線透過率:65%以上	・低放射フィルム	・LE			・衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2		・飛散防止フィルム				・層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2		・飛散防止フィルム				・ガラス貫通防止フィルム	・SF			<p>① 改修範囲 [6.1.3]</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内のある程度の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]</p> <p>ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目視工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ・図示</p> <p>④ 施工一般 [6.5.2]</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(イ)(b)による</p> <p>5 製材 [6.5.2]</p> <p>・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※3級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 造作用集成材 [6.5.2]</p> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>7 造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種・B種					※3級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面		※上小節	※A種・B種			見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種						※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 A種・B種					※1等	※10%以下 A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			() 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない				造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用								※1等 ・2等									※1等 ・2等		施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※15%以下								※15%以下		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない					※14%以下	・する ・しない		施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用									<p>春日部市 学校教育課 教育施設課</p> <p>日付 _____ 工事名称 豊春中学校校舎トイレ改修工事 図面No. _____ 縮尺 A1: ー 図面名称 特記仕様書(改修その3) A-03 A3: ー</p>
	合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・普通合板 []	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・天然木化粧合板 []	樹種名() 接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・特殊加工化粧合板 []	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・MDF []	接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・50		・パーチカル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・160×160	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・200×200	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	記号		その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	内貼り用	外貼り用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2	可視光線透過率:65%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・衝撃破壊対応ガラス	・G1-1	・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・層間変位破壊対応ガラス	・GD-1	・GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※3級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面		※上小節	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※1等	※10%以下 A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※1等	※10%以下 A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		() 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		造作材の場合 (※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

⑧合板等
・「合板の日本農林規格」による普通合板
・「合板の日本農林規格」による構造用合板
・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
・パーティクルボード
・JAS 0360 に基づく構造用パネル
・MDF
9 接合具等
10 接着剤
11 防蟻・防蟻処理
12 内部間仕切軸組及び床組み
13 窓、出入口その他
14 軽量鉄骨天井下地

⑮軽量鉄骨壁下地
⑯ビニル床シート
⑰ビニル床タイル
⑱特殊機能床材
⑲ビニル幅木
20 ゴム床タイル
21 カーペット敷き
22 合成樹脂塗床
23 フローリング張り

24 畳敷き
25 せつこうボード
その他のボード張り
26 壁紙張り
27 モルタル塗り
28 タイル張り
29 セルフレベリング材
塗り
30 フリーアクセスフロア
31 可動間仕切
32 移動間仕切
33 トイレブース
34 手すり

モルタル
既装目地材
床目地
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理
伸縮調整目地の位置
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改訂仕様書第3章による
試験張り
見本焼き
セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、
石膏材、混和剤等を含め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル
内装タイル以外のユニットタイル
マスク張り
モザイクタイル張り
有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状・寸法等
施工箇所
種類
形状/寸法
再生材料の有無
排水材料の有無
排水による区分
防水の有無
耐震性の有無
耐摩耗性の有無
耐汚損性の有無
備考
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
塗り
フリーアクセスフロアの試験方法
標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(d)による
寸法精度
標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(c)による
以下による
パネルの長さの寸法精度
パネルの平面形状(角度)の寸法精度
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
帯電防止性能
評価値(U) ≥ 0.6以上
評価値(U) ≥ 1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R) ≥ 1×10^8 Ω
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
構造形式
構成基材の種類
パネル表面仕上げ
遮音性
防火性能
パネル内に取付ける建具
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章
8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
構造形式
操作方法
圧接装置の操作方法
総厚さ
パネル表面材
材質
仕上げ
遮音性
防火性能
パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
※図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重が使用上支障のないものに対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
表面材の種類
脚部種類
ドアエッジの材質
ドアエッジの形状
メラミン樹脂系化粧板
※幅木タイプ
※製造所の標準仕様
標準仕様書
アルミニウム製
ステンレス製
表面材と同材
材料の種類及び仕上げ
SUS304
表面処理
※HL程度
鋼製
表面処理
溶融亜鉛めっき
※標準仕様書 表14.2.2による種別
アルミニウム
表面処理
※標準仕様書 表14.2.1による種別
色合等
標準色
特注色
手すりの握り部分
材質
表面仕上げ
直径(mm)
取付箇所
備考
集成材(材種)
クワカク
30程度
35程度
45程度
鋼製
30程度
35程度
45程度
車いす対応
樹脂被覆材
34φ

35 階段滑り止め
36 黒板及びホワイトボード
(37)表示
38 タラップ
39 ブラインド
40 ロールスクリーン
41 カーテン
42 カーテンレール
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
(44)天井点検口
(45)床点検口
46 くつふきマット
(47)流し台ユニット
48 鋼製書架及び物品棚

49 屋内掲示板
50 洗面カウンター
51 防煙垂れ壁
52 収納家具
(7)塗装改修工事
(1)材料
(2)下地調整
(3)養生ごしらえ
(4)錆止め塗料塗り
(5)塗装

8 耐震改修工事
(9)環境配慮改修工事
1 石綿粉じん濃度測定
2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)
3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)
4 石綿含有成形板の除去(レベル3)
5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)
6 PCB含有シーリング材処分
7 外断熱改修工事

8 断熱・防露改修工事
9 屋上緑化改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 ・ ・	施工完了後の溶接部の試験 ○外観試験 ※全数 試験対象 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート 適用期間 (月 日 ~ 月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S=()		
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子		12 暑中コンクリート 適用期間 (月 日 ~ 月 日) (6.12.2) 構造体強度補正値(S) ※ $6N/mm^2$ 図示による ()、S=()		
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 ・重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・ガス圧接 その他の鉄筋 () ○重ね継手 ○溶接継手 継手位置 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4 ・図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(ウ)) ・図示による () 柱及び梁の上部で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・図示による ()	① コンクリートの種類等 (6.2.1) Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用箇所 ○24 2.3程度 15又は18 ○18 ・ ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正値(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S=3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S=6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)	13 マスコンクリート 適用箇所 () ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による) スランプ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による		
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による () 機械式定着工法 適用箇所 () 種類 ・摩擦圧接接合 鋼合グラウト固定 ・板合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による	② セメント (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 () 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 () 適用箇所 ()	14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 () ・フライアッシュセメントB種 () 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()		
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)	15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(g)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、174法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。		
	⑥ 各部配筋	※図示による (5.3.7)	④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による			
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 適用箇所 () ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による	⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ()			
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3、5) 図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	⑥ 混和剤の種類 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑥ 打増し厚さ (6.8.1) 打増し厚さ (打放し仕上げ部) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()			
	⑨ 溶接継手	適用箇所 (5.5.3、5) ○図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()	⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種類 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種類 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による () ⑧ 打増し厚さ (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () ⑨ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ () ○合板 (※12mm) ※コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による () ⑧ 打増し厚さ (6.8.4) 打増し厚さ ・標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ())			
			⑩ 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スランプ ※21cm			

8 耐震改修工事	<p>(一般事項)</p> <p>1 適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨プレースの設置工事 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) 柱補強工事 (連続繊維補強工法) 耐震スリット新設工事 制振改修工事 土工事及び地業工事 	<p>2 セメント</p> <p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>適用箇所 (※下記以外全て)</p> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の地、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする</p> <p>・高炉セメントB種</p> <p>適用箇所 (・1Fより下部 (立ち上がり部含む))</p> <p>・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ()</p>	<p>5 普通ポルト</p> <p>ポルト及びナットの種類 (7.2.3)</p> <p>標準仕様書 表7.2.3 (JIS耐震用品)又は次による</p> <p>ポルトの規格は、JIS B 1180とする</p> <p>(ポルトの種類は、呼び径六角ポルト又は全ねじ六角ポルトとし、材料は鋼とする。ポルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ポルトの軸径の最大寸法は、ポルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。)</p> <p>ポルトのねじの呼び</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>※ JIS B 1256による ()</p> <p>※ 二重ナット</p> <p>ポルトの端部距離、ポルト間隔、ゲージ等</p> <p>※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-1 端部距離及びポルト間隔)</p>	<p>18 アンカーポルト等の設置</p> <p>構造用アンカーポルトの形状及び寸法 (7.10.3)</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>建方 (及び付属鉄骨)用アンカーポルトの保持及び埋込み工法 (表7.10.1)</p> <p>種類 ・ A種 ・ B種</p> <p>柱底部しモルタルの厚さ及び工法の種類 (表7.10.2)</p> <p>厚さ</p> <p>種類 ※ A種 ・ B種</p>																																																					
	<p>2 既存部分の処理等</p> <p>既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2]</p> <p>撤去範囲</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 [8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]</p> <p>・ 既存柱、梁面</p> <p>・ 打磨ぎ面の15～30mm程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p> <p>・ 既存壁</p> <p>・ 打磨ぎ面の10～15mm程度に、平均深さ2～5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける</p>	<p>3 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5]</p> <p>※ A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量Rt<3.0kg/m³以下)</p>	<p>6 アンカーポルト</p> <p>・ 構造用アンカーポルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>種類 ・ ABR400 ・ ABR490</p> <p>・ 建方用アンカーポルト (JIS G 3101)</p> <p>種類 ・ SS400</p> <p>アンカーポルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <p>※ 標準仕様書表7.2.3による</p> <p>ポルトの端部距離、ポルト間隔、ゲージ等</p> <p>※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-1 端部距離及びポルト間隔)</p>	<p>19 溶融垂れつき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要部分に限る。)</p> <p>種類等 [8.20.4]表8.20.1</p> <table border="1"> <tr> <th>垂れつきの種類</th> <th>材料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ポルト、ナット類、アンカーポルト類</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table> <p>外観検査 ※行う ・ 行わない</p>	垂れつきの種類	材料	適用部位	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ポルト、ナット類、アンカーポルト類			最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																							
	垂れつきの種類	材料	適用部位																																																						
	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板																																																							
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板																																																								
C種	普通ポルト、ナット類、アンカーポルト類																																																								
	最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板																																																								
<p>3 撤去工事の施工内容</p> <p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材に接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。</p> <p>※はつり仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p>	<p>4 混和材料</p> <p>種類 ※ [8.2.5] (4) (a)による [8.2.5]</p> <p>・ 混和剤</p> <p>種類 ※ [8.2.5] (4) (b)による [8.2.5]</p> <p>・ 混和材</p>	<p>7 溶接材料</p> <p>・ [8.2.10] (1)、(2)による [8.2.10]</p> <p>・ [8.2.10] (1)、(2)以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 ・ 図示による ()</p>	<p>(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー</p> <p>仕様等 [8.2.4]</p> <p>・ 金属系アンカー (耐震補強用)</p> <p>引張耐力 ※ 図示による ()</p> <p>せん断耐力 ※ 図示による ()</p> <p>アンカー本体の径及び埋込み長さ</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>セット方式 ※ 本体打込み式改良型</p> <p>接合部の種類、径、長さ</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>・ 接合系アンカー</p> <p>引張耐力 ※ 図示による ()</p> <p>せん断耐力 ※ 図示による ()</p> <p>アンカーの種類 ※ カプセル方式回転・打撃式 ・ カプセル方式打込み型</p> <p>接着剤の品質 ※ 有機系 ・ 無機系</p> <p>アンカー筋の径及び埋込み深さ</p> <p>※ 図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p> <p>アンカー筋の新設壁内への定着の長さ</p> <p>※ 図示による (「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)</p>																																																						
<p>4 撤去工事における注意事項</p> <p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造全体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気ピックを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に粉塵、はつりがらを清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <p>・ 石膏ボードについては、「石膏の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場で処分すること。</p> <p>・ 石膏ボード、フレンシールボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないように手はずで行い、原形のまま運搬処分すること。</p> <p>・ 以下の天井材の撤去にあたっては、石膏が破損しないように、手はずで行うこと。</p> <p>・ 床：ビニル系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。</p>	<p>8 打増し厚さ (打増し仕上げ部)</p> <p>打増し厚さ [8.7.8]</p> <p>・ 打増し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)</p> <p>・ 20mm</p> <p>・ 打増し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)</p> <p>・ 10mm ・ 20mm</p> <p>打増し範囲</p> <p>・ 図示による ()</p>	<p>8 ターンバックル</p> <p>種類</p> <p>建築用ターンバックル</p> <p>※ 羽子板ポルト</p> <p>建築用ターンバックル調</p> <p>※ 割替式</p> <p>ねじの呼び</p> <p>※ 図示による ()</p>	<p>2 あと施工アンカー工事</p> <p>性能確認試験</p> <p>試験方法及び試験数</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>穿孔機械 (金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7]</p> <p>※ ハンマドリル ・ コアドリル</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の探査方法</p> <p>・ JASS 11.10.cに規定された非破壊検査を行う</p> <p>・ 鉄筋探知器 (金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う</p> <p>探査方式</p> <p>・ 電磁波レーダ法 (3D表示対応型) ・ 電磁波レーダ法又は電磁波誘導法</p> <p>鉄筋探知器の性能</p> <p>・ 0管及び非金属類の探査が可能である機器とする</p> <p>・ はつり出しによる</p> <p>施工確認試験</p> <p>試験方法 ※ 引張試験機による引張試験</p> <p>確認強度</p> <p>・ 図示による ()</p>																																																						
<p>(鉄筋)</p> <p>1 鉄筋</p> <p>種類 [8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD235</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	SD235	※D16以下		SD345	※D19以上		<p>9 型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]</p> <p>・ 合板 (※12mm) [8.2.7]</p> <p>コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督官と協議する。</p> <p>・ 断熱材を兼用した型枠の使用</p> <p>適用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>・ MCR工法用シートの使用</p> <p>適用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>打増し厚さ</p> <p>打増し範囲</p> <p>スリートの材質・規格等</p> <p>・ 図示による ()</p>	<p>9 スタッド</p> <p>頭付きスタッド (JIS B 1198)の種類等 [8.2.11][8.16.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。</p>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・ 16			・ 19			・ 22			<p>2 あと施工アンカー工事</p> <p>性能確認試験</p> <p>試験方法及び試験数</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>穿孔機械 (金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7]</p> <p>※ ハンマドリル ・ コアドリル</p> <p>穿孔前の埋込み配管等の探査方法</p> <p>・ JASS 11.10.cに規定された非破壊検査を行う</p> <p>・ 鉄筋探知器 (金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う</p> <p>探査方式</p> <p>・ 電磁波レーダ法 (3D表示対応型) ・ 電磁波レーダ法又は電磁波誘導法</p> <p>鉄筋探知器の性能</p> <p>・ 0管及び非金属類の探査が可能である機器とする</p> <p>・ はつり出しによる</p> <p>施工確認試験</p> <p>試験方法 ※ 引張試験機による引張試験</p> <p>確認強度</p> <p>・ 図示による ()</p>																																	
種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																							
SD235	※D16以下																																																								
SD345	※D19以上																																																								
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																							
・ 16																																																									
・ 19																																																									
・ 22																																																									
<p>(コンクリート)</p> <p>1 コンクリートの種類等</p> <p>コンクリートの類別 [8.1.3.4][8.2.5]</p> <p>※ I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>・ II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>※ 普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td>2.3程度</td> <td>・ 15又は18 ・ 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值</p> <p>※ [表8.2.4]による</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所	・ 24	2.3程度	・ 15又は18 ・ 18		・				・				・				・				<p>10 型枠の加工及び組立</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用</p> <p>適用箇所 ・ 図示による ()</p>	<p>10 製作精度</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 [8.13.3]</p> <p>適シゲヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法</p> <p>※ H12報告第1464号第二号(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法</p> <p>※ H12報告第1464号第二号(3)による</p> <p>食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法</p> <p>・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p>	<p>(グラウト工事) 1 柱底部しモルタル及びグラウト材</p> <p>・ 柱底部しモルタル</p> <p>※ 無収縮モルタル</p> <p>※ 無収縮モルタルの材料及び割合</p> <p>※ [表8.12.2] (1) (7) から (1) による</p> <p>・ グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <p>種類</p> <p>プレミックス形又は現場調合形とする。</p> <p>セメント</p> <p>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</p> <p>砂</p> <p>製造所の仕様にによる。</p> <p>水和材</p> <p>セメント系膨張剤 (酸化カルシウム及び水酸化カルシウム・サルファ・アルミニウム等)とする</p> <p>配合比(質量比)</p> <p>(セメント+水和材) : (砂) 製造所の仕様による。</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <p>Uロートによる落下時間</p> <p>練り混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</p> <p>フリージング率</p> <p>練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下</p> <p>凍結時間</p> <p>凍結開始時間 : 1時間以上</p> <p>終結時間 : 10時間以内</p> <p>膨張収縮 (無収縮性)</p> <p>材齢 7日 収縮しない</p> <p>圧縮強度</p> <p>材齢 3日 20.0 N/mm²以上</p> <p>材齢 28日 40.0 N/mm²以上</p> <p>付着強度</p> <p>材齢 28日 2.5 N/mm²以上</p> <p>塩化物量</p> <p>0.30kg/m³以下</p> <p>1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。</p> <p>2) プレミックス形と現場調合形で水和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。</p> <p>3) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p>																														
設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所																																																						
・ 24	2.3程度	・ 15又は18 ・ 18																																																							
・																																																									
・																																																									
・																																																									
・																																																									
<p>2 溶接金網</p> <p>形状等 [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				<p>11 無筋コンクリート</p> <p>コンクリートの種類</p> <p>※ 普通コンクリート</p> <p>セメントの種類</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>・ 高炉セメントB種</p> <p>・ フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所</p> <p>※ 標準仕様書 6.14.1 (4)による箇所 ・ 図示による ()</p> <p>設計基準強度</p> <p>※ 18 (N/mm²)</p> <p>スラブ</p> <p>※ 15cm又は18cm</p>	<p>11 溶接作業者の技量付加試験</p> <p>試験の要領 [8.15.3]</p> <p>・ 図示による ()</p>	<p>2 耐震スリット</p> <p>幅及び深さ</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>設置箇所</p> <p>・ 図示による ()</p>																																										
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																						
・ 溶接金網																																																									
・ 鉄筋格子																																																									
<p>3 継手及び定着</p> <p>継手方法等 [8.3.4][8.2.4-3]</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 柱、梁の主筋</td> <td>・ ガス圧接 ・ 機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・ ガス圧接 ・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>継手位置</p> <p>※ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)</p> <p>(基礎梁主筋の継手位置 図5.2 図5.3 図5.4)</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ</p> <p>※ 図示による ()</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <p>・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(ウ))</p> <p>・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表3.1)</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>鉄筋の定着長さ</p> <p>※ 図示による ()</p>	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	・ 柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手	※D19以上		・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ ガス圧接 ・ 重ね継手		上記以外	・ 重ね継手		<p>12 コンクリートの打込み工法等</p> <p>コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)</td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)</td> <td>・ 全ての増設部</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ 柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての柱補強部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)</td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)</td> <td>・ 全ての柱補強部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)</td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)</td> <td>・ 図示による ()</td> </tr> </table>	補強工事	工法の種類	適用箇所	・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設部		・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()		・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 全ての増設部			・ 図示による ()	・ 柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・ 工法指定なし	・ 全ての柱補強部分		・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()		・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 全ての柱補強部分			・ 図示による ()		・ 工法指定なし	・ 図示による ()		・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()		・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 図示による ()	<p>12 溶接接合</p> <p>開先の形状</p> <p>・ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>
部位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																							
・ 柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手	※D19以上																																																							
	・ 溶接継手																																																								
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手																																																								
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ ガス圧接 ・ 重ね継手																																																								
上記以外	・ 重ね継手																																																								
補強工事	工法の種類	適用箇所																																																							
・ 現場打ちコンクリート壁の増設工事	・ 工法指定なし	・ 全ての増設部																																																							
	・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()																																																							
	・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 全ての増設部																																																							
		・ 図示による ()																																																							
・ 柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・ 工法指定なし	・ 全ての柱補強部分																																																							
	・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()																																																							
	・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 全ての柱補強部分																																																							
		・ 図示による ()																																																							
	・ 工法指定なし	・ 図示による ()																																																							
	・ 流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2)	・ 図示による ()																																																							
	・ 圧入工法 8.21.8(1)(7)、(3)	・ 図示による ()																																																							
<p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)</p> <p>最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う)</p> <p>※ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1)</p> <p>・ 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けおそれのある部分等)</p> <p>適用箇所 ()、最小かぶり厚さに加える厚さ () mm</p>	<p>13 入熱、バス間温度の管理</p> <p>適用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>	<p>12 溶接接合</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <p>切除する場所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>切除範囲</p> <p>・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>																																																						
<p>5 ガス圧接完了後の試験</p> <p>外観試験は全ての圧接部で行う。 [8.3.8]</p> <p>圧接部の確認試験 ※ 超音波探傷試験</p>	<p>14 溶接部の試験</p> <p>H12報告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]</p> <p>・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 3.5.2 受入検査による</p> <p>・ 抜き取り検査①</p> <p>・ 抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6 「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する確認方法等</p> <p>・ JASS 6/04.4 「受入検査」 4. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の取扱い等は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書 7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験</p> <p>・ 工場溶接の場合</p> <p>※ 全数</p> <p>・ 工事現場溶接の場合</p> <p>※ 全数</p>	<p>11 溶接接合</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <p>切除する場所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>切除範囲</p> <p>・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>																																																						
<p>6 圧接完了後の圧接部の試験</p> <p>外観試験 ※ 行う (全ての圧接部) [8.3.8]</p> <p>超音波深層試験 ※ 行う (全ての圧接部)</p>	<p>15 錆止め塗装</p> <p>塗装の範囲 [8.17.2]</p> <p>耐火被覆材の接着する面</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外</p> <p>※ [表7.2.1] (1) (7) ~ (7) 以外の範囲</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>7.4.3][8.17.4]</p> <p>塗料の種類</p> <p>・ 鉄鋼面の錆止め塗料</p> <p>屋外</p> <p>[表7.4.1] A種</p> <p>屋内</p> <p>[表7.4.1] () 種</p> <p>・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</p> <p>[表7.4.2] () 種</p> <p>・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <p>[表7.4.1] A種</p> <p>・ 耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料</p> <p>[表7.4.1] () 種 ・ [表7.4.2] () 種</p>	<p>12 溶接接合</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <p>切除する場所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>切除範囲</p> <p>・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>																																																						
<p>7 割製補強筋</p> <p>形状</p> <p>・ スパイラル筋</p> <p>種類の記号</p> <p>・ SR235またはSMM-P</p> <p>呼び径、曲げ直径、ピッチ</p> <p>・ 図示による ()</p>	<p>16 耐火被覆</p> <p>種類、材料、工法等 [8.18.2-8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能 (耐火時間)</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付け吹付カケ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 半乾式吹付け吹付カケ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする</p>	種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付け吹付カケ				・ 湿式ロックウール				・ 半乾式吹付け吹付カケ							・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板							・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール								・ ラス張りモルタル塗り				・ 耐火塗料			<p>12 溶接接合</p> <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <p>切除する場所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>切除範囲</p> <p>・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>										
種類	材料・工法	性能 (耐火時間)	適用箇所 (部位・部分)																																																						
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付け吹付カケ																																																								
	・ 湿式ロックウール																																																								
	・ 半乾式吹付け吹付カケ																																																								
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																								
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール																																																								
	・ ラス張りモルタル塗り																																																								
	・ 耐火塗料																																																								
<p>8 耐力壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材に接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。</p> <p>※はつり仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p>	<p>17 建方精度</p> <p>※ JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」による (7.10.2)</p>	<p>13 入熱、バス間温度の管理</p> <p>適用箇所</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>	<p>3 充填材の挿入及び周囲補修等</p> <p>・ 耐火材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>・ 遮音材 使用箇所及び仕様</p> <p>・ 図示による ()</p> <p>撤去部の補修</p> <p>※ 撤去材と同一材で補修</p>																																																						

（免震改修工事）	・別添の免震工事特記仕様書による
（制振改修工事）	・別添の制振工事特記仕様書による
（土工事及び地業工事）	
1 既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 ・杭頭部等の処理 ・既存杭の補強 ・健全性の確認試験
2 土工事	埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 ・B種 適用場所 ・C種 適用場所 ・D種 適用場所 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 六価クロム溶出試験 建設発生土の処理 鋼矢板等の抜き跡の処理 山留め壁等の存置
3 地業工事	・杭地業 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 試験杭の位置、本数、寸法、施工方法 杭の載荷試験 地盤の載荷試験 杭の淨接継手 杭頭の処理等 記録する施工状況等
	砂利地業 材料 施工範囲 厚さ ・砂地業 材料 施工範囲 厚さ ・捨コンクリート地業 材料 設計基準強度 スラブ 施工範囲 厚さ

○ 情報共有システム	① 情報共有システム 本工事は「春日部市営繕工事情報共有システム実施要領」に基づく、情報共有システム活用対象工事である。なお、情報共有システムで取り扱う工事関係書類は、同要領別紙「情報共有システム対象書類一覧表」によるものとする。
------------	--

アスベスト分析試料 レベル一覧
管理普通特別教室棟

検体名	レベル
① ケイカル板下地 塗材	3
② 石膏ボード下地 塗材	—
③ モルタル塗り下地、塗材	—
④ 塩ビシート	—
⑤ 塩ビシート	—
⑥ 塩ビシート	—
⑦ モルタル下地 塗材	—
⑧ 石膏ボード下地 塗材	—
⑨ モルタル塗り下地 塗材	—
⑩ 塗材	—

普通教室棟

検体名	レベル
⑫ Pタイル	3
⑬ モルタル下地 塗材	—
⑭ 石膏ボード下地 塗材	—
⑮ 塩ビシート	—
⑯ ケイカル板下地 塗材	3
⑰ 塗材	—

※ レベルにおいて「—」は、アスベスト不検出であることを表す。

1. 工事名称	工事名称	豊春中学校校舎トイレ改修工事	建築主	
	工事場所 (地名地番)	埼玉県春日部市南中曽根170番地2	住所	春日部市中央七丁目2番地1
	主要用途	中学校	氏名	春日部市長 岩谷 一弘
	工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修()・室内装飾用途変更(大規模の模様替)・仮設建築・解体・移転	郵便番号・電話番号	〒 344-8577 Tel 048-736-1111(代表)
			工期 (予定)	契約工期

2. 敷地状況	敷地面積	25,380 m ²	建ぺい率	基準建ぺい率	60%
			容積率	基準容積率	100%
	用途地域	第1種低住専・第2種低住専・第1種中高住専・第2種中高住専・第1種住居 第2種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用地域(指定なし)	日影制限(有・無)	平地地盤面からの高さ 敷地境界線より5mを越え10m以内の範囲	4.0 m 4.0 時間内 2.5 時間内
	防火地域	防火・準防火・指定なし・特定行政庁の指定地域	その他の地域地区	都市計画区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業区域・特定街区・改良地区・文教地区(第1種) 風致地区(第1種)・高度地区(第1種)・駐車場整備地区・電線伝線障害防止地区・多雪地区・災害危険地区・緑地地区・土地区画整理事業地区 宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他()	

3. 構造規模	構造	階数	構造形式	基礎	耐火建築物	建築年度	
	普通教室棟	RC造	3階建て	ラーメン構造	杭基礎	耐火建築物	昭和52年度
	特別教室・管理棟	RC造	3階建て	ラーメン構造	杭基礎	耐火建築物	昭和44年度

4. 面積	建築面積	m ²	特別教室・管理棟	m ²			
	延床面積	2,130.0 m ²	2,658.0 m ²				

5. 床面積		地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	塔屋1階	計
	工事部分(トイレ)床面積								
	普通教室棟トイレ(生徒用)		59.50 m ²	59.50 m ²	59.50 m ²				178.50 m ²
	管理普通特別教室棟トイレ(生徒用)		32.40 m ²	32.40 m ²	32.40 m ²				97.20 m ²
	管理普通特別教室棟トイレ(職員用)		47.25 m ²						47.25 m ²
									計 322.95 m ²

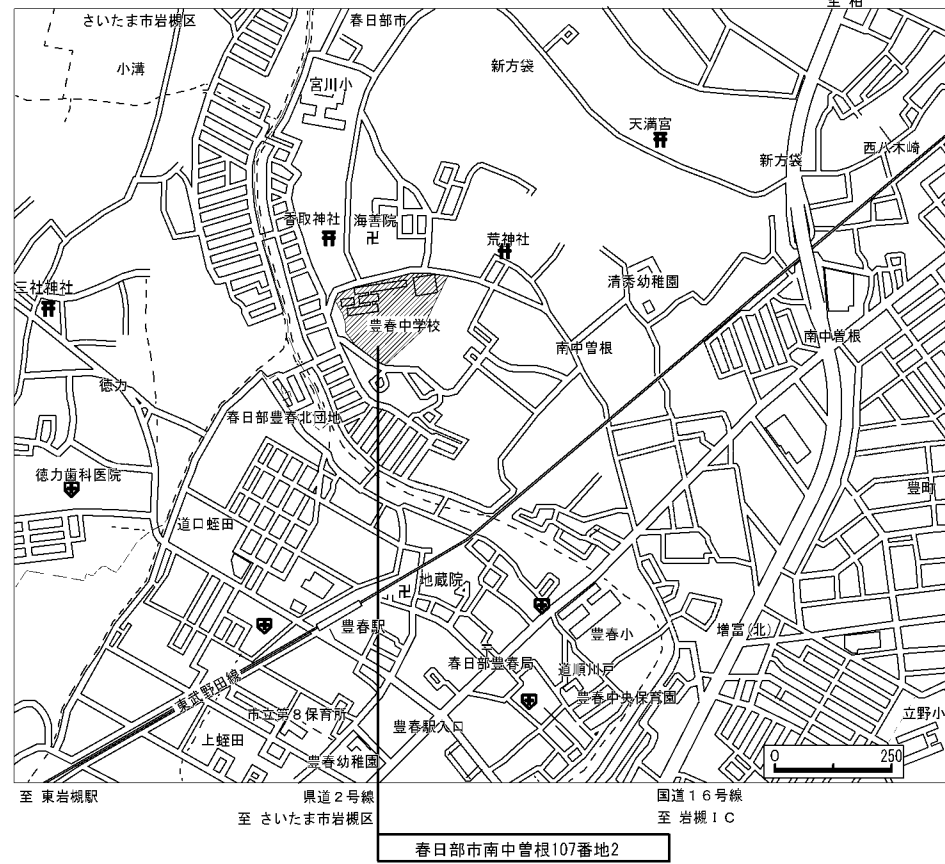
6. 工事概要	トイレ全面リニューアル改修工事 普通教室棟：1～3階トイレ、管理普通特別教室棟：1～3階トイレ
	・内装改修(乾式化、バリアフリー化を含む)、建具改修、トイレブース改修
	・衛生器具の洋式化、給排水配管の更新
	・照明及び換気扇等の人感センサー式への更新、各種電源コンセント引込
	・受水槽・高架水槽更新工事
	※図面記載事項は全て本工事とする。

7. 外部仕上(現況)

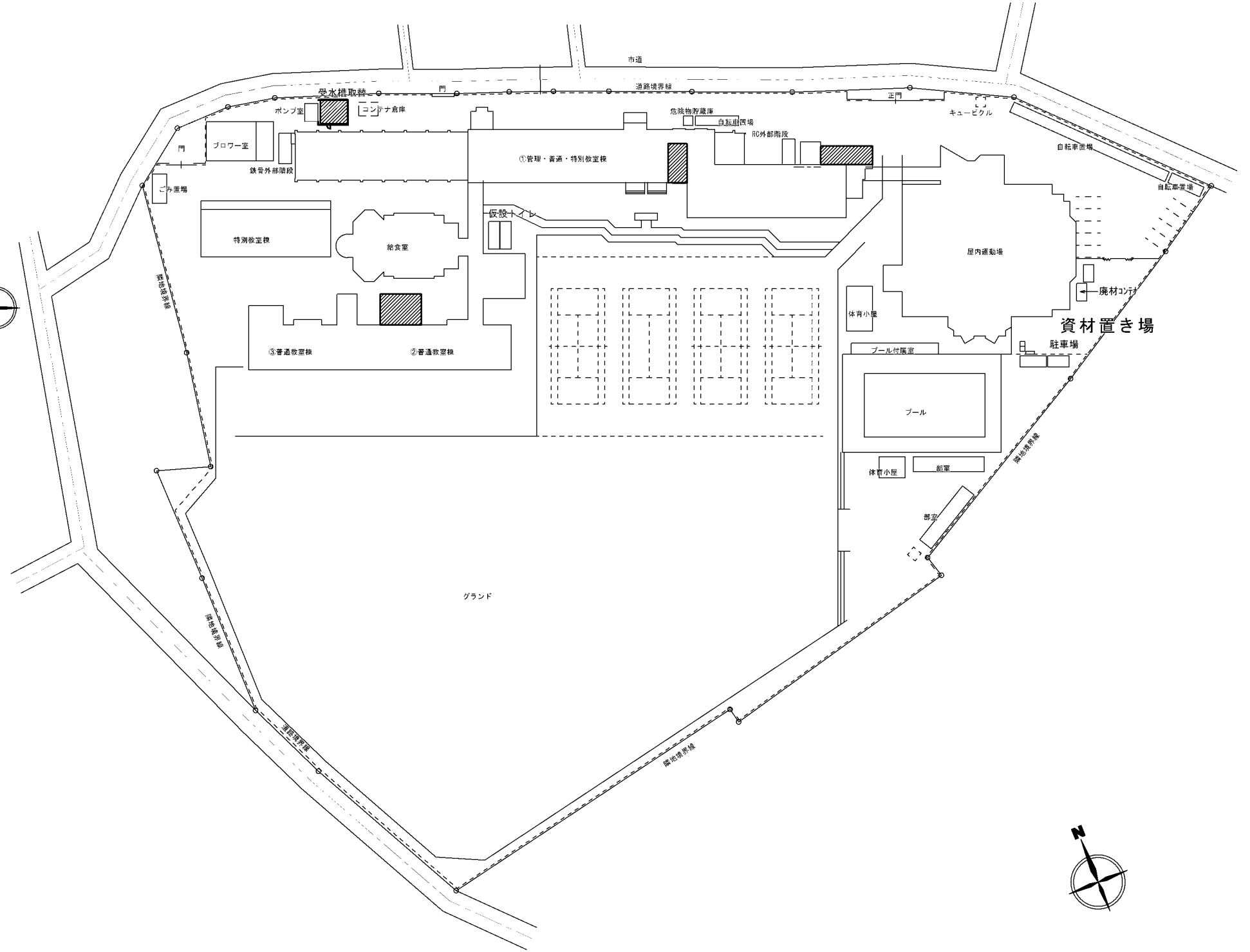
	改修前	改修後	備考
屋上	コンクリート直均し、アスファルト露出防水、	PH階屋根：防水改修工事(別図参照)	
外壁	コンクリート打放し化粧仕上げ、ウレタン系複層模様吹付		
軒裏	フレキシブルボードt6、ウレタン系複層模様吹付		
建具	アルミ製	普通教室棟・管理普通特別教室棟 トイレ ：既設ガラス撤去、アルミパネル新設	

8. 工事区分

工事区分表											
項目	建築	電機	機械	備考	項目	建築	電機	機械	備考	項目	備考
躯体関係					屋外排水設備・外構						
RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		○		雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備 樹及び樹蓋		○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○									
	補強を要しない型枠材及び取付け		○								
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○								
	貫通孔・開口部の補強	○									
	和風便器撤去後のスラブ閉塞(仕上げ共)	○					配筋共				
スリーブ・型枠の穴埋め		○									
仕上げ関係					機械設備・電気設備関係						
軽量天井・壁下地	補強を要する'-ト'の切込み及び下地の補強	○			機器付属の制御盤以降の配管配線 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 機器と付属操作スイッチの渡り配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線 小便器・手洗器用の電源配管配線 センサースイッチの渡り配線 換気扇用の電源配管配線		○		二次側		
	補強を要しない'-ト'の切込み	○	○			○		一次側			
	開口部の墨出し	○	○								
吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○							
	天井仕上下地	○									
外壁廻り	ウエザーカバー		○								
	換気扇		○								
トイレ廻り	衛生機器ライニング	○			補強材共						
	便器		○								
	洗面器		○								
	掃除用流し		○								
	化粧鏡		○								
	紙巻器		○								
	手摺		○		取付金物共						
	衛生器具廻りのシーリング		○								
	モップ掛け・雑巾掛け・棚	○									
	換気扇取付用木枠	○									
その他	サイン工事(ピクトサイン・室名札)	○									
	点検口(床・壁・天井)	○									



案内図 (A1) 1:8,000 (A3) 1:16,000



配置図 縮尺=1/500



内部仕上表 1

室名	符号	床			巾木			腰壁・ライン			壁			天井			備考(本工事含む)	VOC測定		
		仕上げ	床高	75バ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	75バ					
管理普通特別教室棟	男子職員トイレ	改修前	前室	(f-01)	下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01)	ビニル巾木 h100 【撤去】			(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】手洗器、パーテーション、電話機(家具共)	
				男子職員トイレ	(f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去、土間コン撤去】	-30	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】			(w-02)	モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼【タイル洗浄】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】			有	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具 【撤去】男女トイレ間仕切り壁(LGS下地)
				女子職員トイレ	(f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去、土間コン撤去】	-30	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】			(w-03)	LGS50、石膏ボードt12.5+9.5下地の上 (遮音シート+グラスウールt50) 磁器質タイル100角貼【下地共撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】			有	
	改修後	前室	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(wb-01)	トイレ専用防滑床材立上げ h100 (小便器前)	(R-01)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗カビ・防カビ不燃化粧板t3 (小便器前)	(W-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400			ラインゲ 天板: 石膏ボードt20 トイレ・ス、鋼製建具、額縁、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り	
			(f-07)	下地調整材の上、 トイレ専用防滑ビニル床シートt2.0貼 (小便器前) 基礎: 砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120			(wb-02)	床材立上げ h100	(R-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 防カビ不燃化粧板t3	(W-02)	LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(W-03)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装	(W-04)	LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装				
	女子職員トイレ	改修前	休憩室	(f-03)	床組(根太45×45@455、大引90×90@910)、 合板t12.0の上、フローリング貼t12.0 【下地共撤去、土間コン撤去】	+150	無					(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-02)	LGSの上、板張りt5.0貼	木製	2.400		【撤去】押入、木製額縁、木製建具	
				改修後	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 基礎: 砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120	±0		(wb-02)	床材立上げ H100	(R-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 防カビ不燃化粧板t3	(W-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(W-02)	LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	塩ビ製	2.400		ラインゲ 天板: 石膏ボードt20 トイレ・ス、鋼製建具(一本枠、三方枠)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り
	誰でもトイレ	改修前	物置	(f-04)	床組の上、合板貼りt2.0 【下地共撤去】	±0	無	(wb-03)	RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】			(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】一部RC壁撤去 【撤去】手洗器、木製建具枠	
				改修後	(f-04)	下地調整材、乾式置床材下地、耐水合板の上 ビニル床シートt2.0貼	±0		(wb-02)	床材立上げ H100			(W-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400		
	給湯室	改修前		(f-04)	下地調整の上、CFt2.0貼 【撤去】	±0	無					(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】キッチンL=1200、作業台(W600×H800×D550) 【撤去】上吊り収納(W2000×H500×D380) 【撤去】家具1(W900×H1800×D500) 【撤去】家具2(W1050×H1800×D4200)	
				改修後	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(wb-03)	ビニル巾木 h100			(W-03)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装	(W-04)	LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.500
	男子トイレ	改修前		(f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去】	-15	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】			(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-03)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 石膏ボードt12.5 目透かし貼 EP塗装	塩ビ製	2.550		【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具	
改修後				(1階)	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(wb-01)	トイレ専用防滑床材立上げ h100 (小便器前)	(R-01)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗カビ・防カビ不燃化粧板t3 (小便器前)	(W-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.500		ラインゲ 天板: 石膏ボードt20 トイレ・ス、鋼製建具(一本枠、三方枠)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、PS点検口
					(2,3階)	(f-02)	モルタルt40の上、下地調整材 ビニル床シートt2.0貼			(wb-02)	床材立上げ h100	(R-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 防カビ不燃化粧板t3	(W-02)	LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(W-05)	LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 EP塗装【下地共撤去】			
女子トイレ	改修前		(f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去】	-15	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】			(w-01)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装	塩ビ製	2.550	有	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具		
			改修後	(1階のみ)	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 基礎: 砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120	±0		(wb-02)	床材立上げ h100	(R-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 防カビ不燃化粧板t3	(W-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.500		ラインゲ 天板: 石膏ボードt20 トイレ・ス、鋼製建具(一本枠、三方枠)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺
廊下	改修前				(f-01)	下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01)	ビニル巾木 h100 【撤去】										
			改修後	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(wb-03)	ビニル巾木 h100											

凡例	石膏ボード厚9.5(準不燃)・・・QW-9828	ケイカル板(注酸カルシウム板)厚6.0・・・NW-3522	SOP 合成樹脂接着剤	NW-5585	1. 特記なき仕上げについては、準不燃以上とする。	8. ボード面に付随する手摺等下地補強材は、	火気使用期は春日市火災予防条例による構造とする。
	石膏ボード厚12.5(不燃)・・・NW-8619	ロックウール化繊吸音板 厚12.0・・・NW-8599	EP 合成樹脂エマルジョンペイント	NW-5585	2. 床見切: 床材ジョイントの場合は未製、それ以外はPPAとする。	使用手摺: スチールPL10.8、階段手摺: スチールPL10.6×H300	ガス ガス事業法第162条に基づく設備・構造とする。
	耐水石膏ボード厚9.5(準不燃)・・・QW-0898	グラスウールガラスクロス(不燃)・・・NW-8606	EP-G つや合成樹脂エマルジョンペイント	NW-5585	3. 長尺塩ビシートは、シームレス加工(溶接継目)とする。	家具・商品等: スチールPL11.2とする。	水道 水道法第16条に基づく設備・構造とする。
	耐水石膏ボード厚12.5(不燃)・・・NW-9639	ビニルクロス(準不燃)・・・QW-0803	NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料	NW-5585	4. カーベットは防汚加工品を使用のこと。	9. 内装の仕上材、天井裏等に使用する建築建材はJIS、JAS表示F☆☆☆☆	下水道 下水道法第10条に基づく設備・構造とする。
	耐水石膏ボード厚9.5(不燃)・・・NW-9645	ビニルクロス(不燃)・・・NW-3991	FE フタル酸樹脂エナメル	NW-5585	5. コロロリ15cm以内は防火構造とする。	または種別対象外の建材とする。	
	強化石膏ボード厚12.5(不燃)・・・NW-8615		DP 耐水性塗料		6. 特記なき限り、天井裏り線は、内部・塩ビ 外部: アルミ製とし	10. 施行令第20条の4及び第20条の5に規定する建材は、使用しない。	
	化粧石膏ボード厚9.5(準不燃)・・・QW-0524				形状タイプは普通かきしとする。	11. 特記なき限り日本工業規格及び日本農林規格適合品を使用する。	
	化粧石膏ボード厚9.5(準不燃)・・・QW-9827				7. 各種ビットの外周壁及び中水利用水栓・雨水貯水水栓は自然排水防水		
					とする。また、設備配管ビッド内部の床はコンクリート 金ゴテ押入		
					(水勾配)、壁・天井はコンクリート打放しとする。		

※壁の位置によって下地は複数あります。
※LGS間仕切り遮音壁はグラスウール24kg/m³ 50mm充填とする。

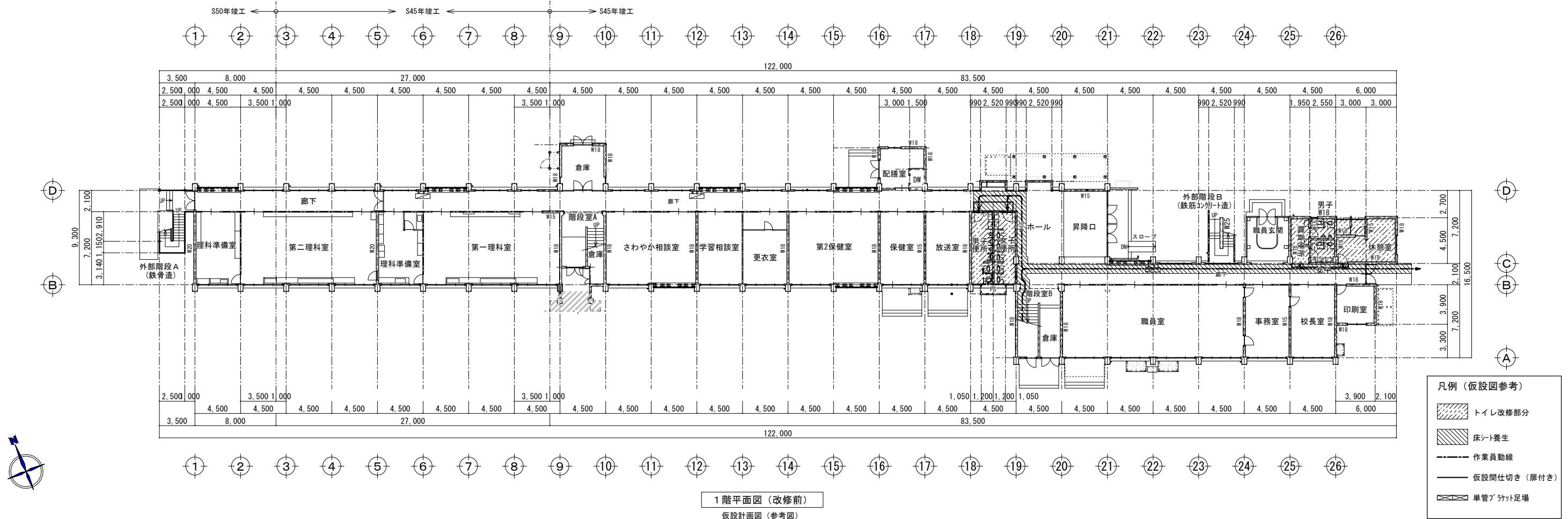
内部仕上表 2

室名	床			巾木			腰壁・ライン			壁			天井			備考(本工事含む)	VOC測定
	符号	仕上げ	床高	7スベスト	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	7スベスト		
普通教室棟	男子トイレ	改修前	(f-01) 下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】 (f-02) モルタル下地の上、磁器質モザイクt25角貼 【下地共撤去】	-150	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質t100角貼 【t100洗浄】	(r-01)	CB、モルタル下地の上、磁器質t100角貼 【下地共撤去】	(w-01) (w-02)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】 モルタル下地の上、磁器質t100角貼【t100洗浄】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装	塩ビ製	2,500	有	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具 フロアーハッチ(1階のみ)
	改修後	(f-01) (f-04) (f-05)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 下地調整材、乾式置床材下地、耐水合板の上 ビニル床シートt2.0貼 下地調整材、乾式置床材下地、耐水合板の上 トイレ専用防滑ビニル床シートt2.0貼(小便器前)			(wb-01) (wb-02)	トイレ専用防滑床材立上げ h100(小便器前) 床材立上げ h100	(r-01) (r-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗炎MFRMシノン不燃化粧板t3(小便器前) LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 MFRMシノン不燃化粧板t3	(w-01) (w-02)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧t100角貼t6.0貼 LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧t100角貼t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2,500		ライン材:ボストフォームt20 トイレ、鋼製建具(一本杵、三方杵)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り フロアーハッチ(1階のみ)
女子トイレ	改修前	(f-01) (f-02)	下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】 モルタル下地の上、磁器質モザイクt25角貼 【下地共撤去】	-30	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質t100角貼 【t100洗浄】	(r-01) (r-02)	モルタル下地の上、磁器質t100角貼 w120 【下地共撤去】 モルタル下地の上、磁器質t100角貼 w240 【下地共撤去】	(w-01) (w-02) (w-07) (w-08)	モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】 モルタル下地の上、磁器質t100角貼【t100洗浄】 LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+ケイ酸t100角貼t6.0の上 磁器質t100角貼【下地共撤去】(PS壁) LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+ケイ酸t100角貼t6.0の上 EP塗装【下地共撤去】(PS壁)	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装	塩ビ製	2,500	有	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具 【撤去】PS壁・点検口撤去 フロアーハッチ(1階のみ)
	改修後	(f-01) (f-04)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 下地調整材、乾式置床材下地、 耐水合板t12.0の上 ビニル床シートt2.0貼	±0		(wb-02)	床材立上げ h100	(r-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 MFRMシノン不燃化粧板t3	(w-01) (w-02)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧t100角貼t6.0貼 LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧t100角貼t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2,500		ライン材:ボストフォームt20 トイレ、鋼製建具(一本杵、三方杵)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り フロアーハッチ(1階のみ)、PS点検口
廊下	改修前	(f-05)	下地調整の上、ビニル床タイルt2.0貼 【撤去】	±0	有	(wb-01)	ビニル巾木 h100 【撤去】										
	改修後	(f-06)	下地調整材の上、ビニル床タイル t2.0貼	±0		(wb-03)	ビニル巾木 h100										

凡 例	ケイ酸系 (建築用ケイ酸カルシウム) 厚6.0	SP 合成樹脂接着剤	EP 合成樹脂エマルジョン	IP-G 中気含有合成樹脂エマルジョン	MD アクリル樹脂系非水分散形塗料	FE フタル酸樹脂エナメル	DP 耐水性塗料
石膏ボード厚9.5(準不燃)	MM-3522	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
石膏ボード厚12.5(不燃)	MM-4619	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
耐水石膏ボード厚9.5(準不燃)	MM-6898	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
耐水石膏ボード厚12.5(不燃)	MM-8639	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
硬質石膏ボード厚9.5(不燃)	MM-9645	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
強化石膏ボード厚21.0(不燃)	MM-9615	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
化粧石膏ボード厚9.5(準不燃)	MM-0524	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585
化粧石膏ボード厚9.5(準不燃)	MM-9827	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585	MM-5585

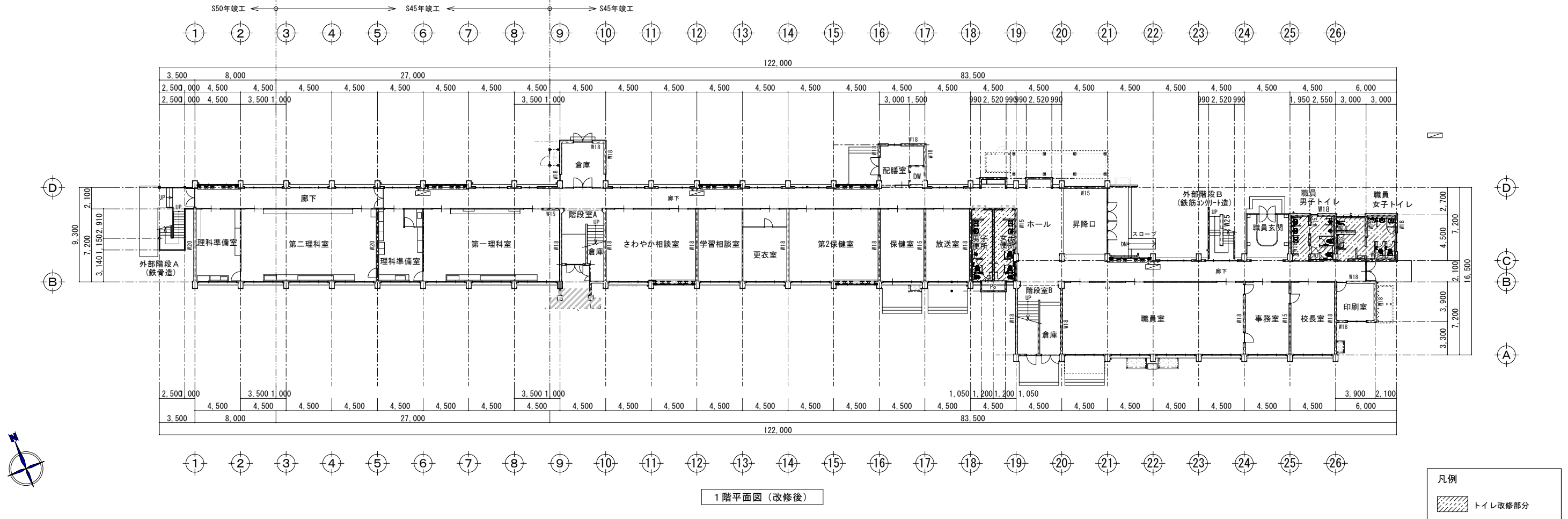
※壁の位置によって下地は複数あります。
※LGS間仕切り遮音壁はグラスウール24Kg/m³ 50mm充填とする。

改修前



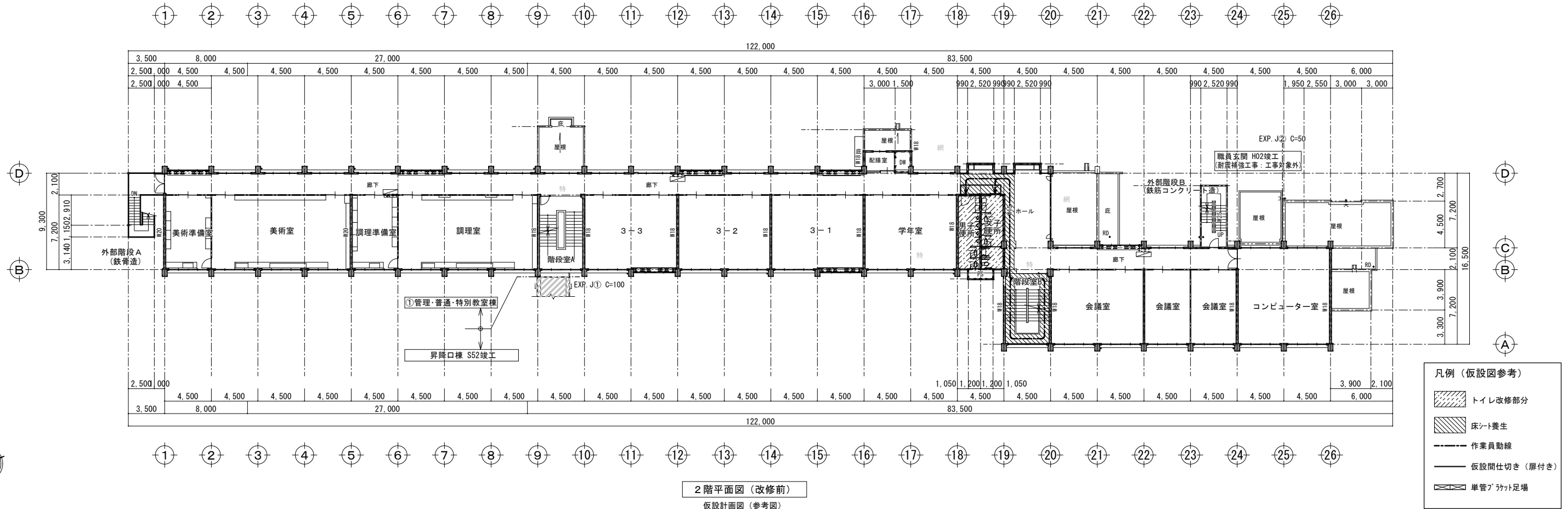
1階平面図(改修前)
仮設計画図(参考図)

改修後

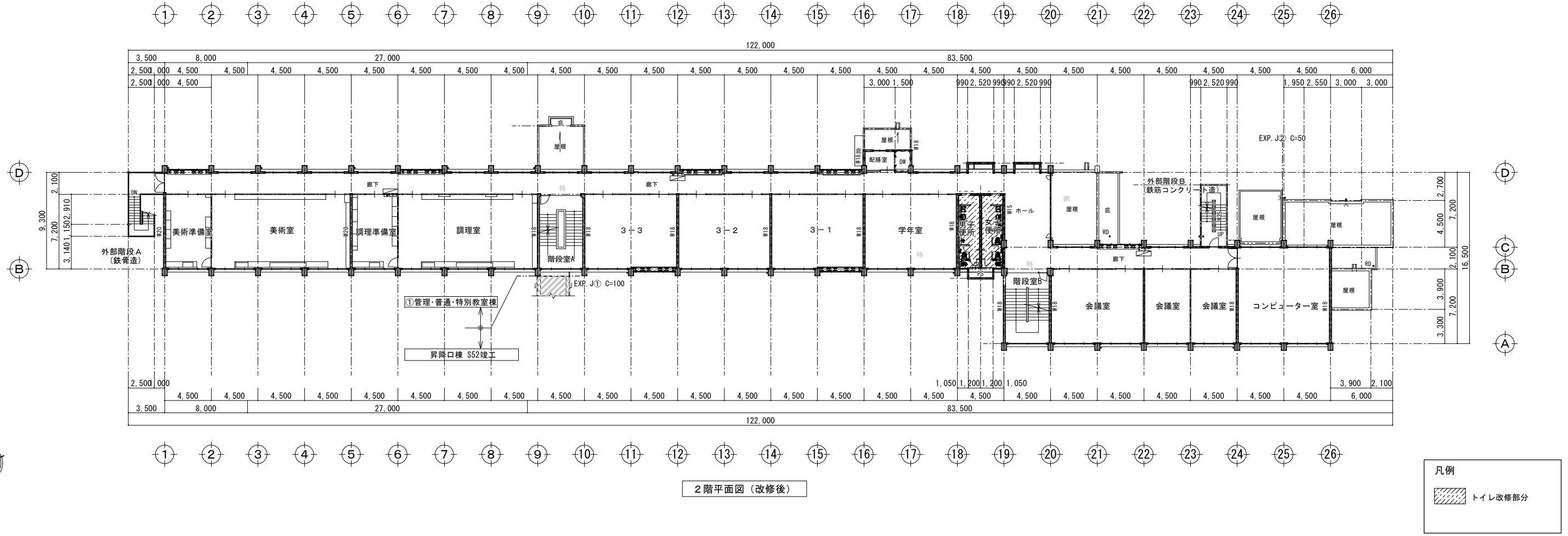


1階平面図(改修後)

改修前



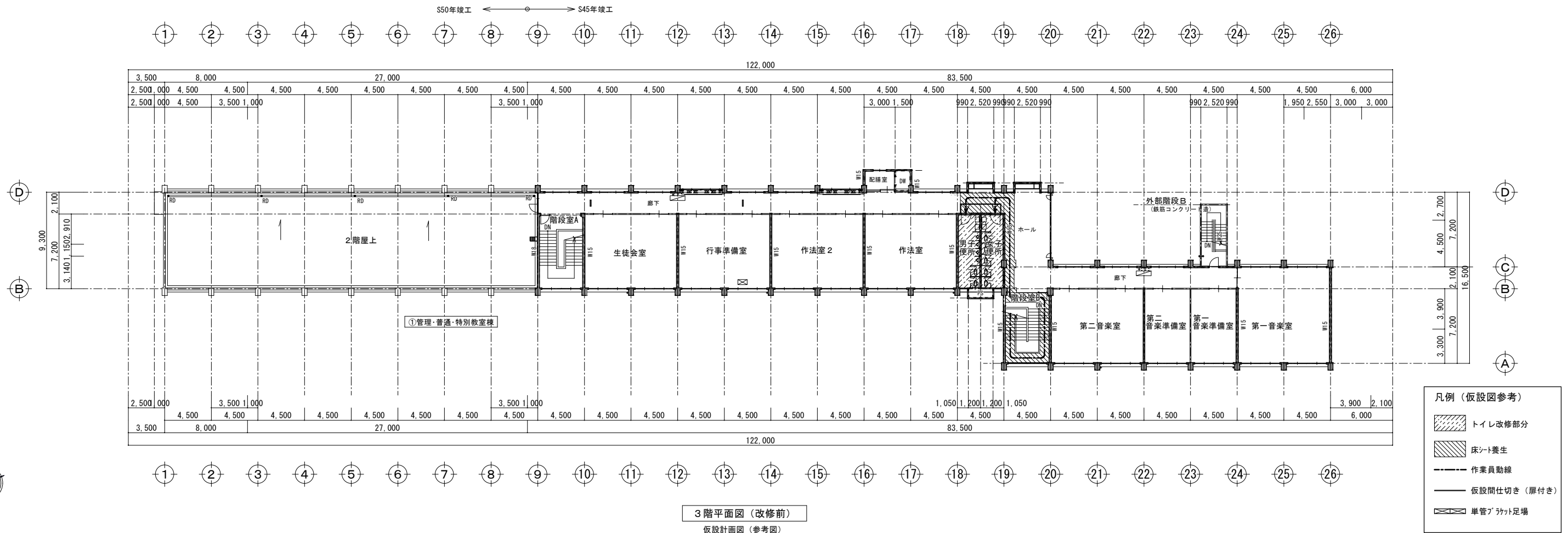
改修後



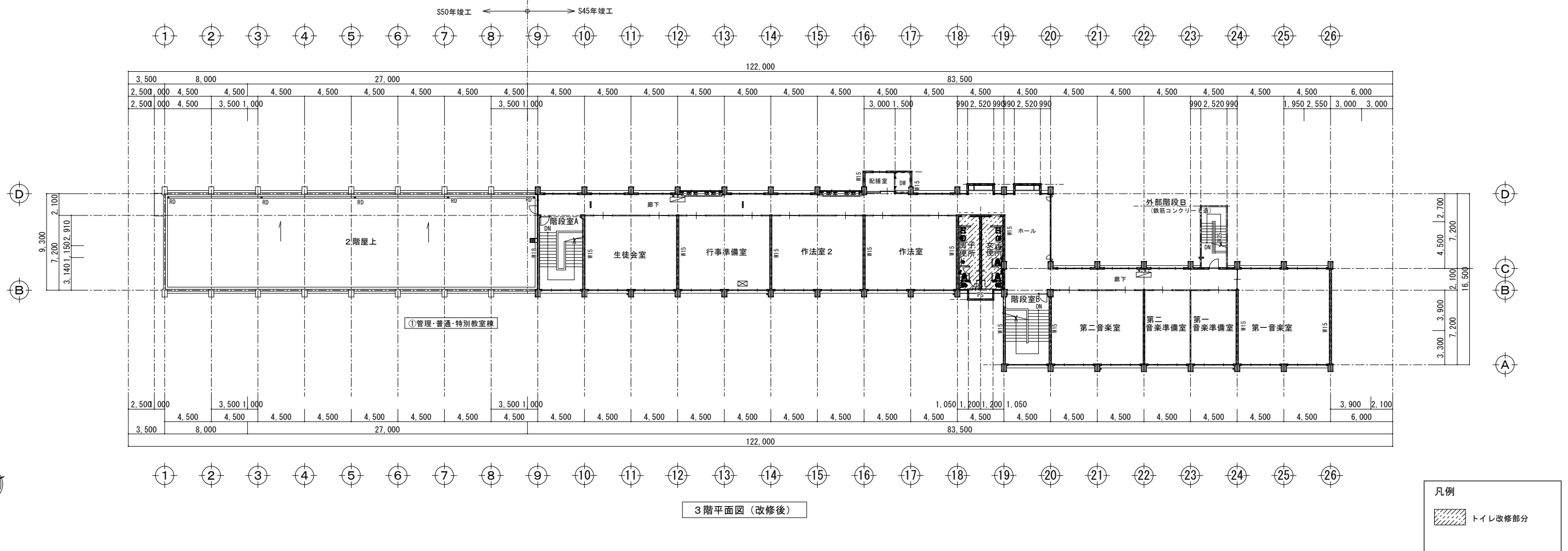
改修

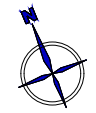
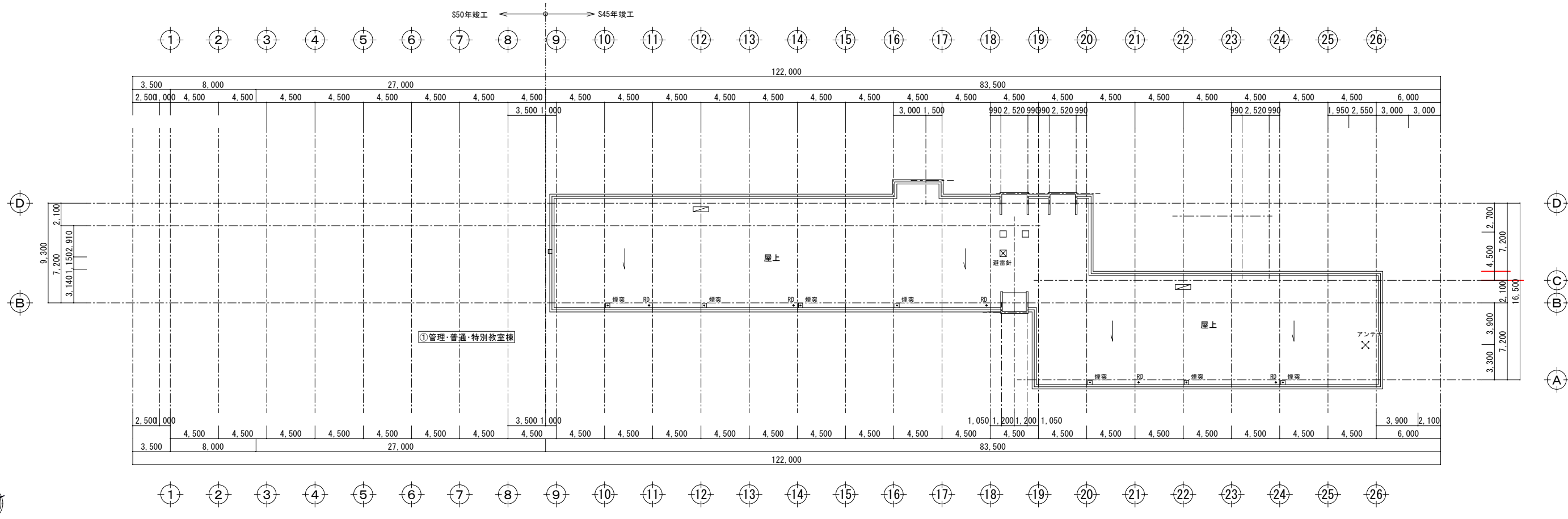
春日部市
学校教育課
教育施設課

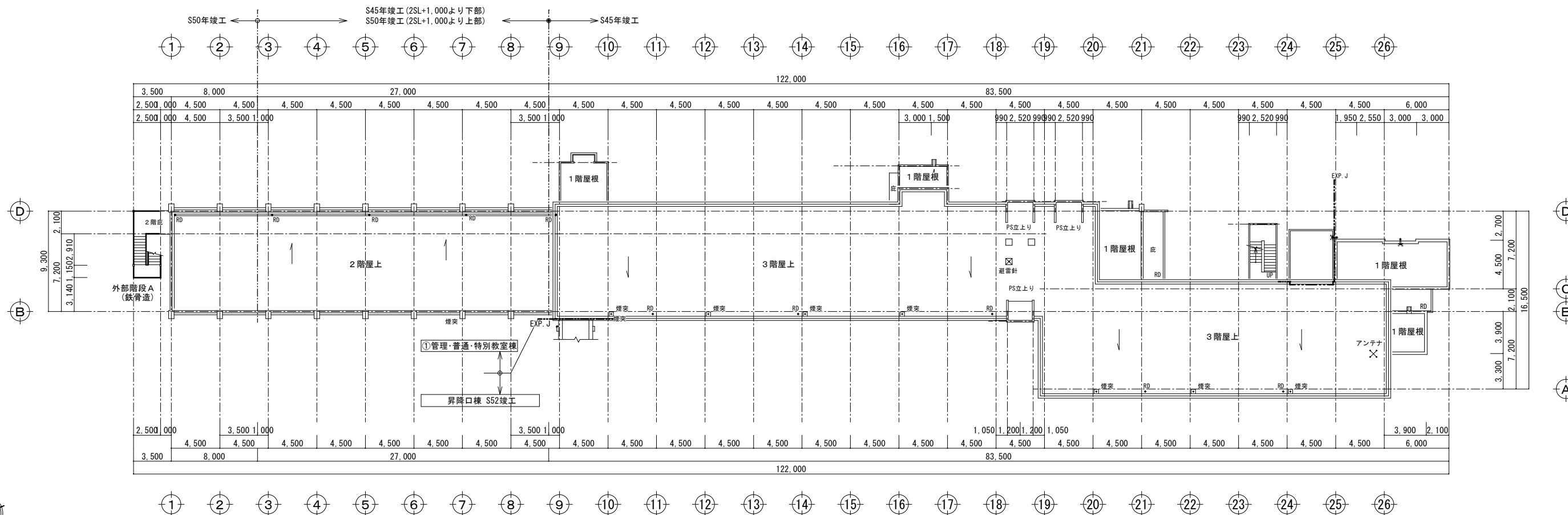
改修前



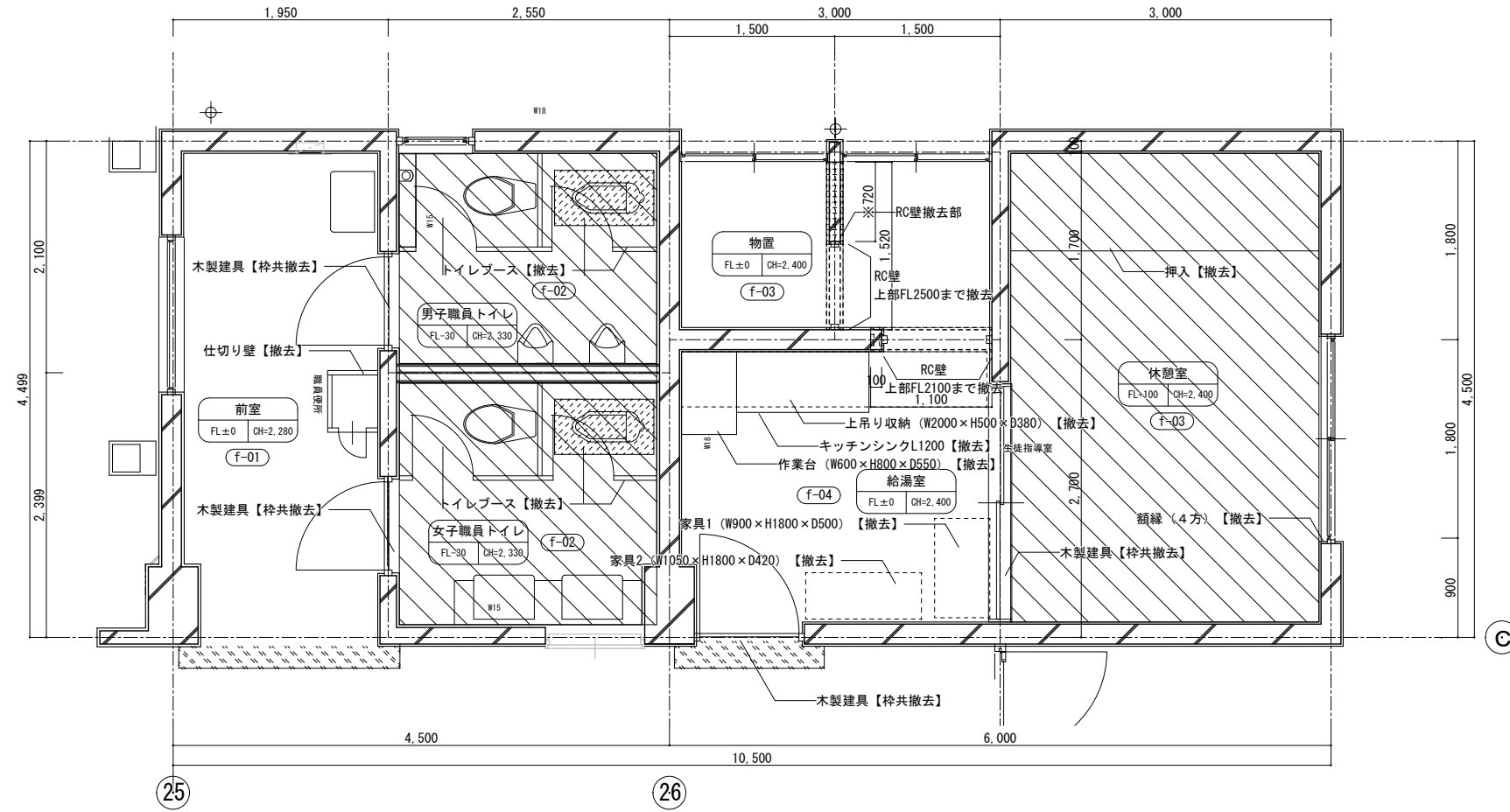
改修後





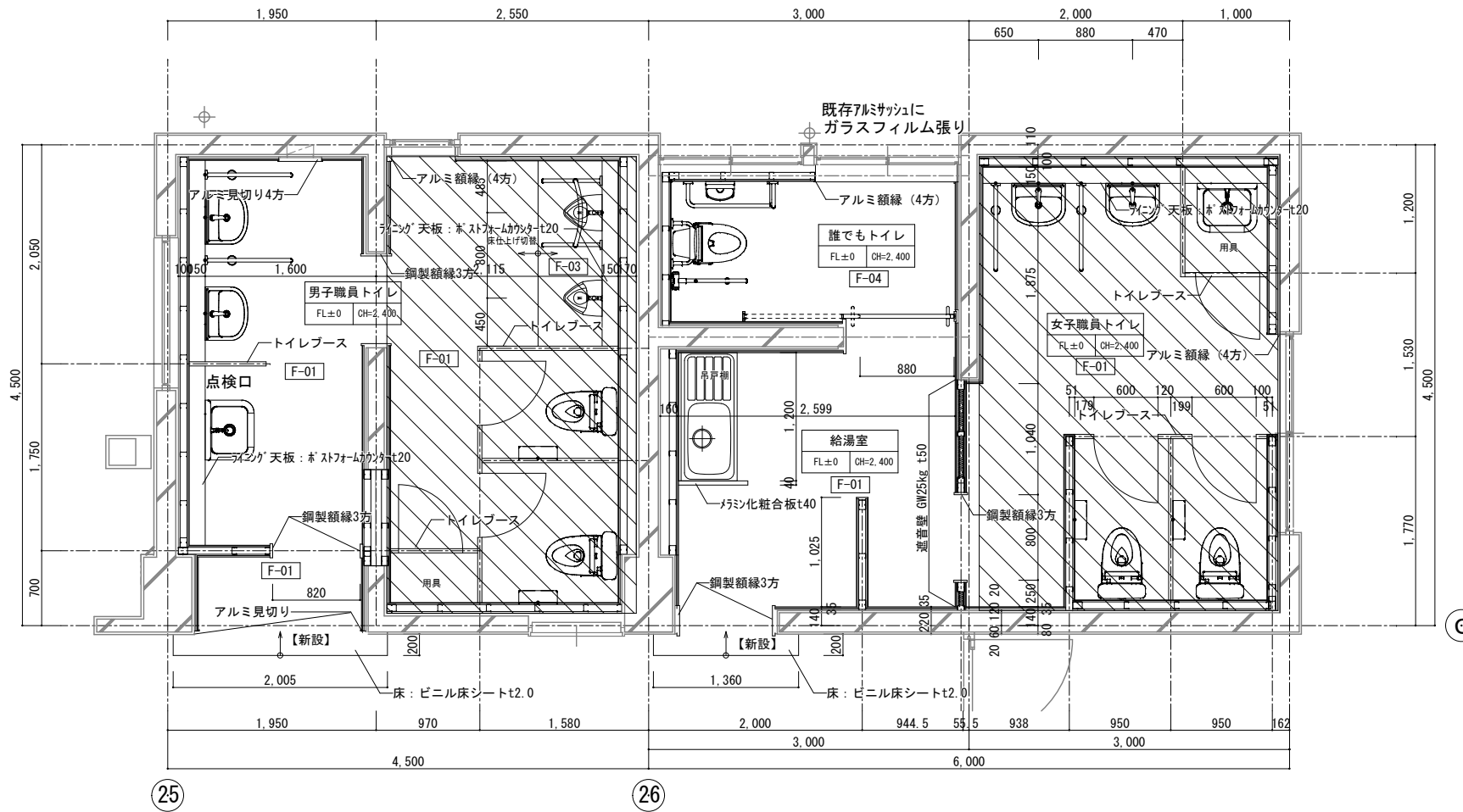


改修前



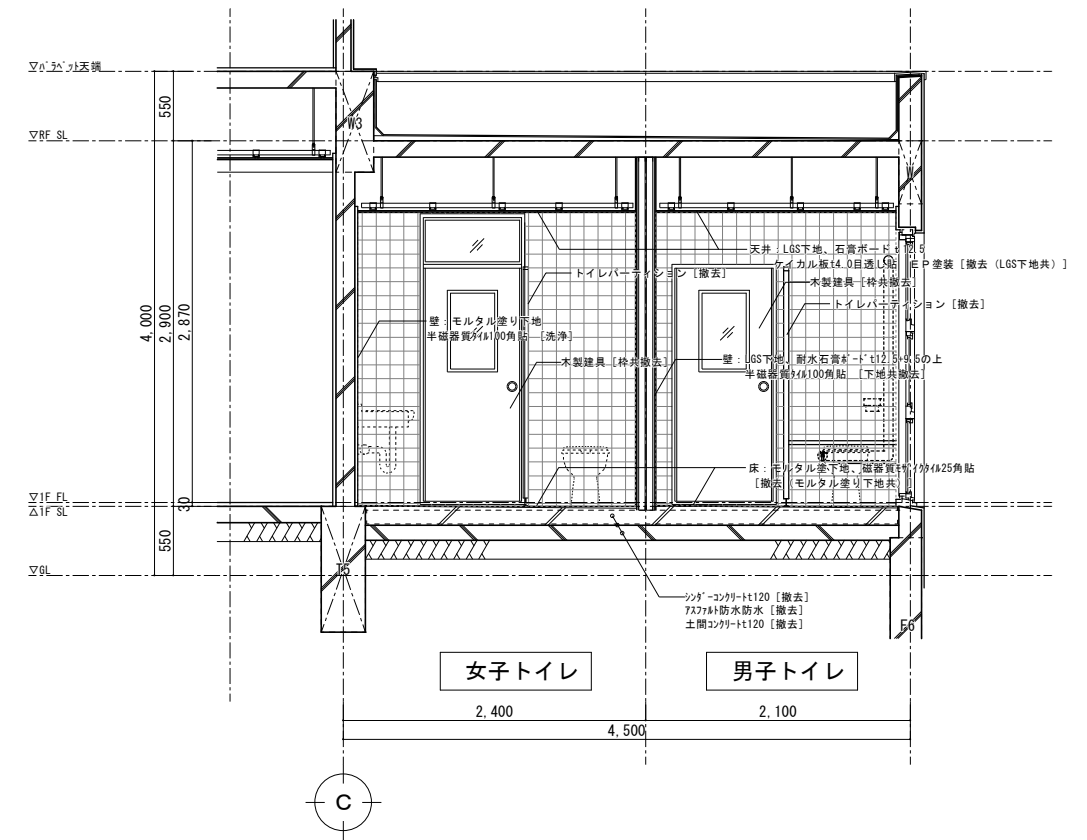
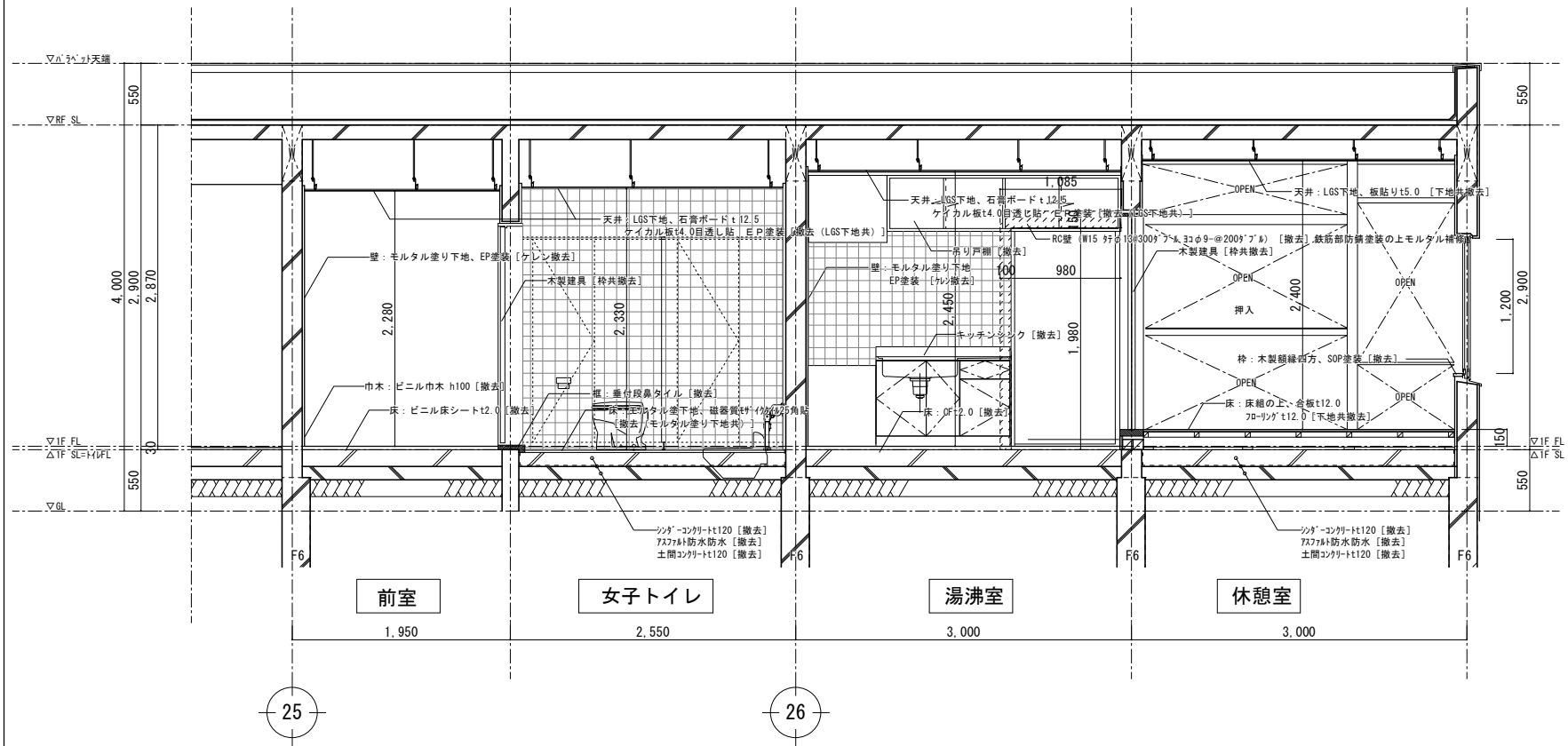
- 凡例
- : 和便器閉鎖部分を示す
 - : 廊下 ビニル床タイル撤去部分
 - : RC壁撤去部分を示す
(撤去後、鉄筋部は錆止め塗装の上、モルタル補修すること)
 - : 土間スラブ撤去部分
(t120 φ9ﾀﾞｲｺﾞ@200)
シンダーコンクリートt150撤去

改修後

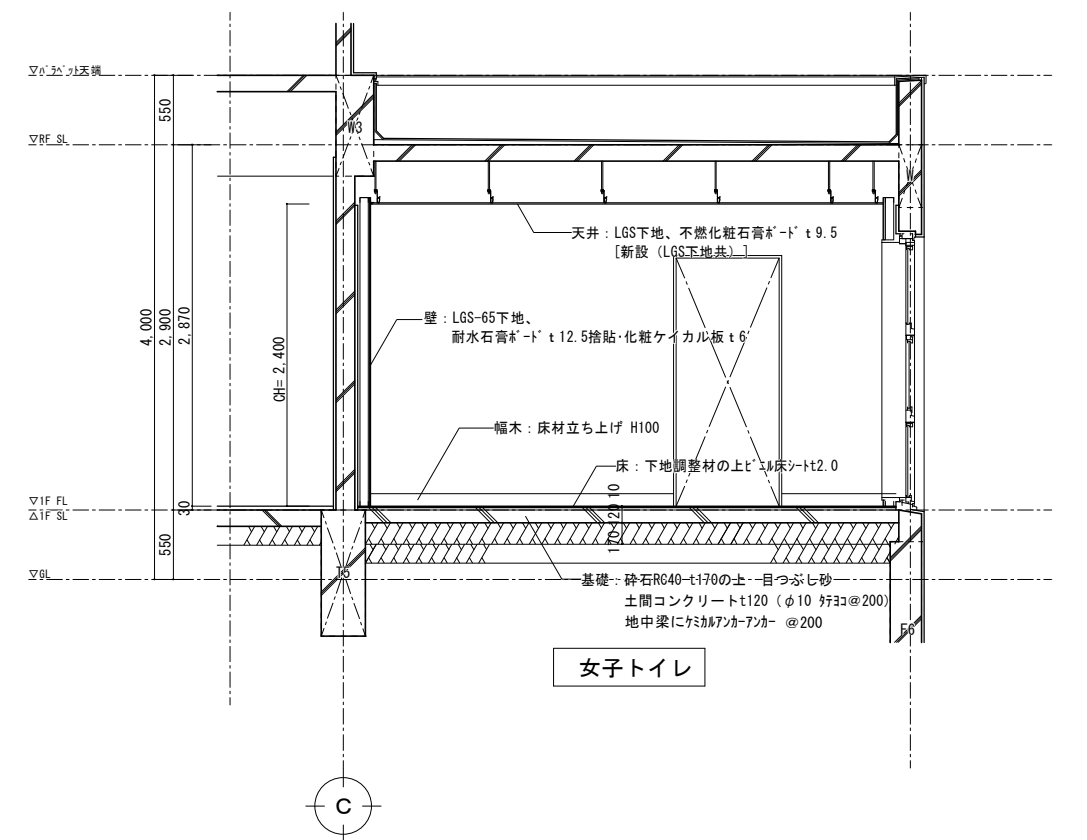
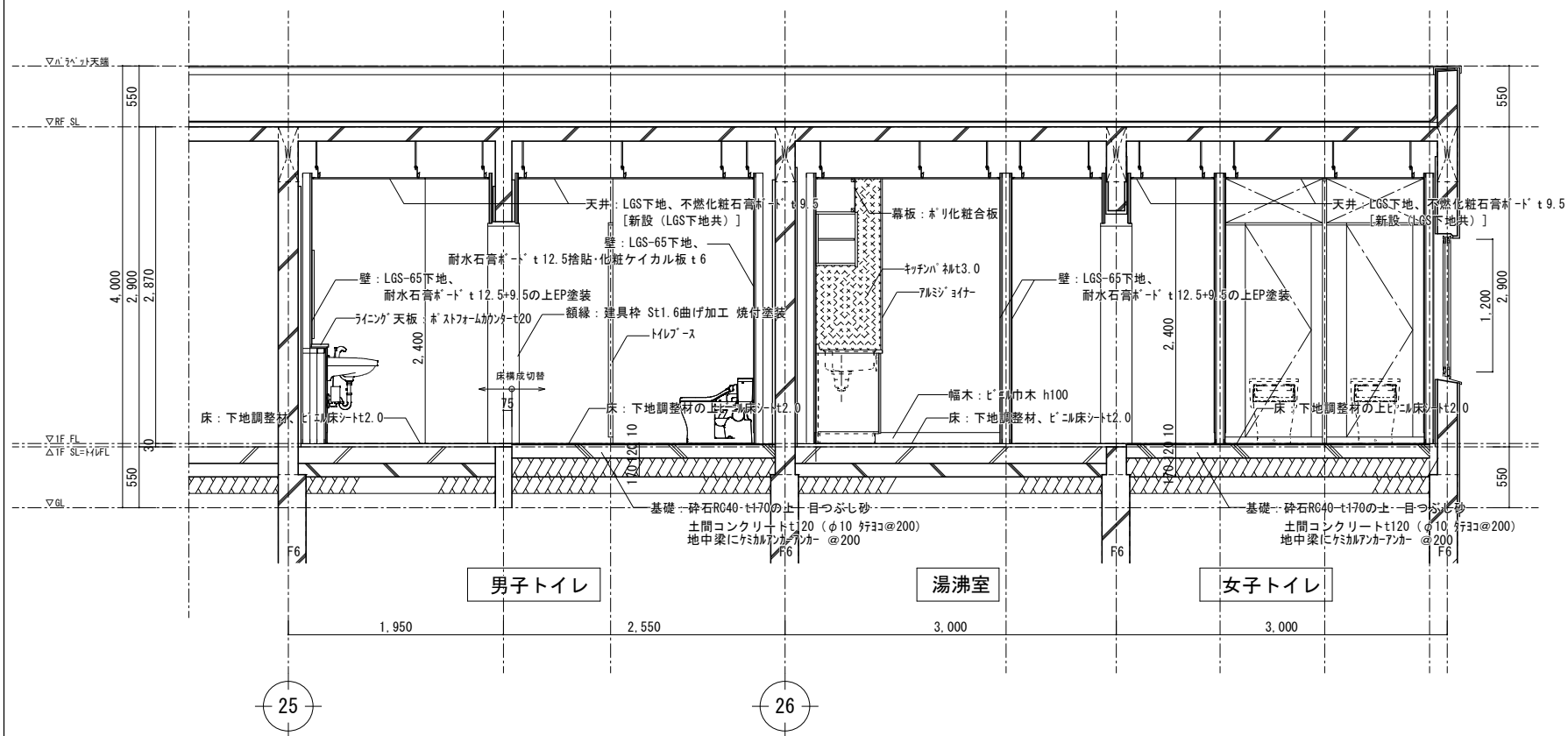


- 凡例
- : 土間スラブ新設部分
(t120 φ9ﾀﾞｲｺﾞ@200)
四周地中梁にケガレコンクリート@200

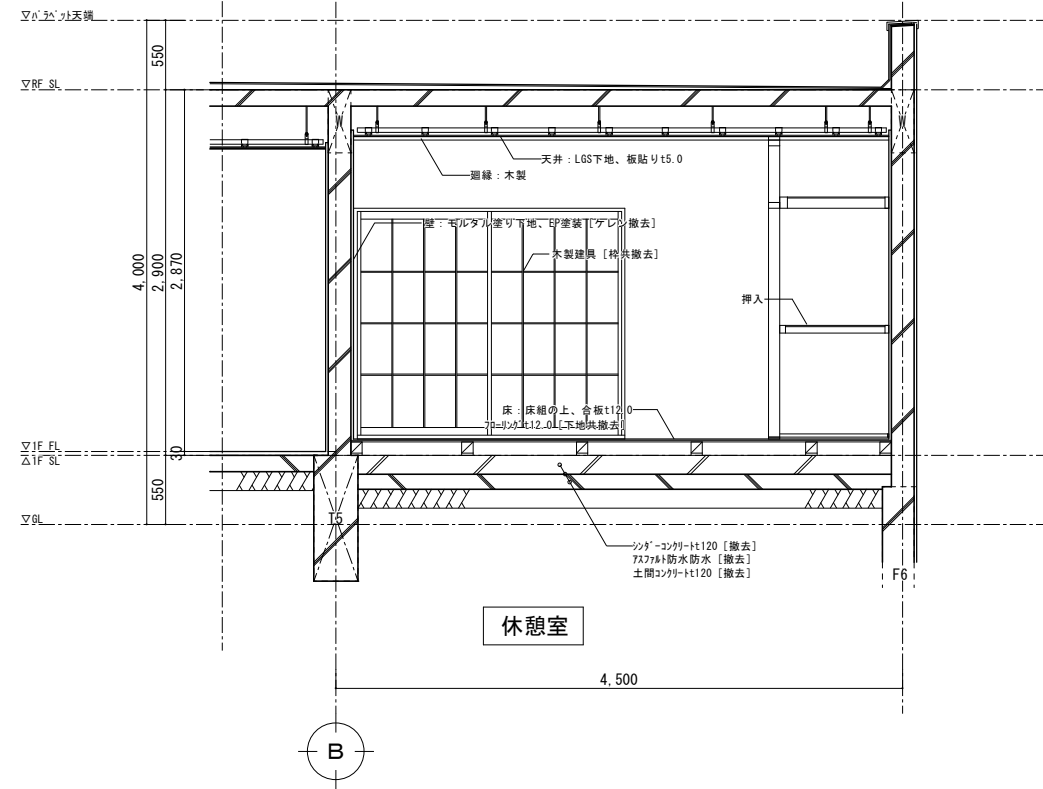
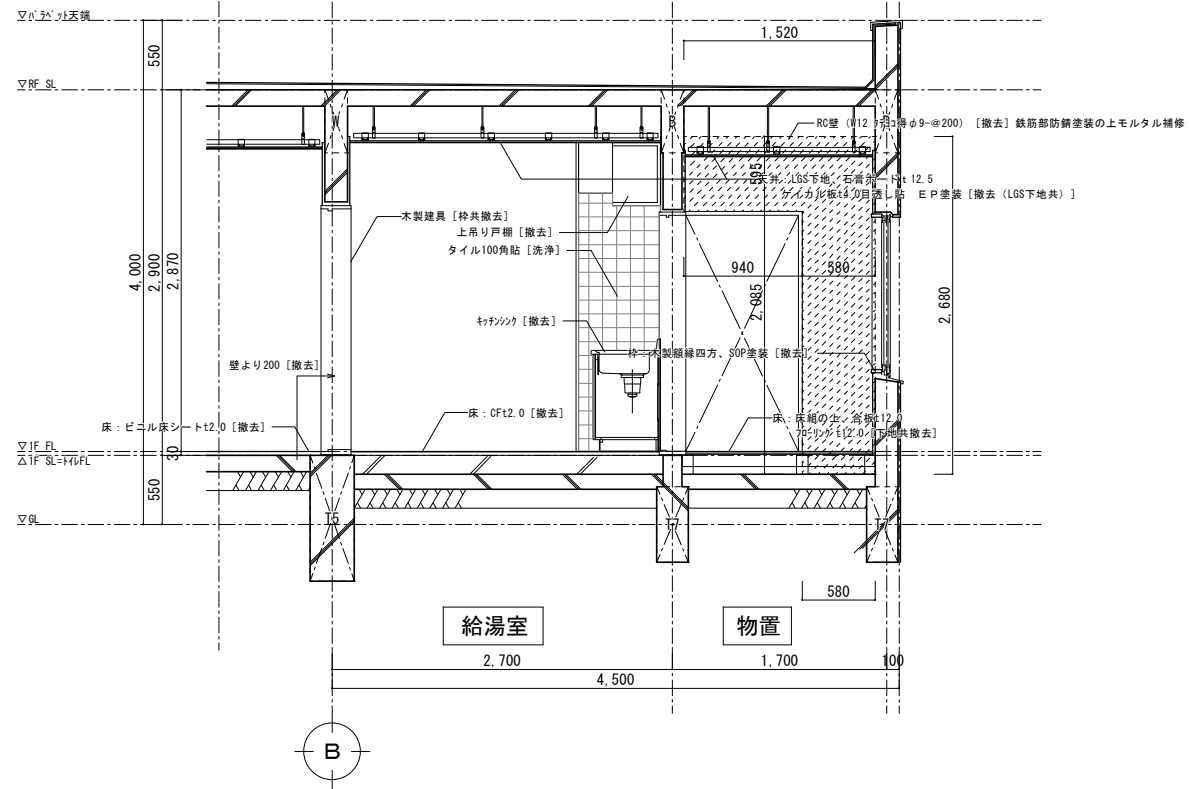
改修前



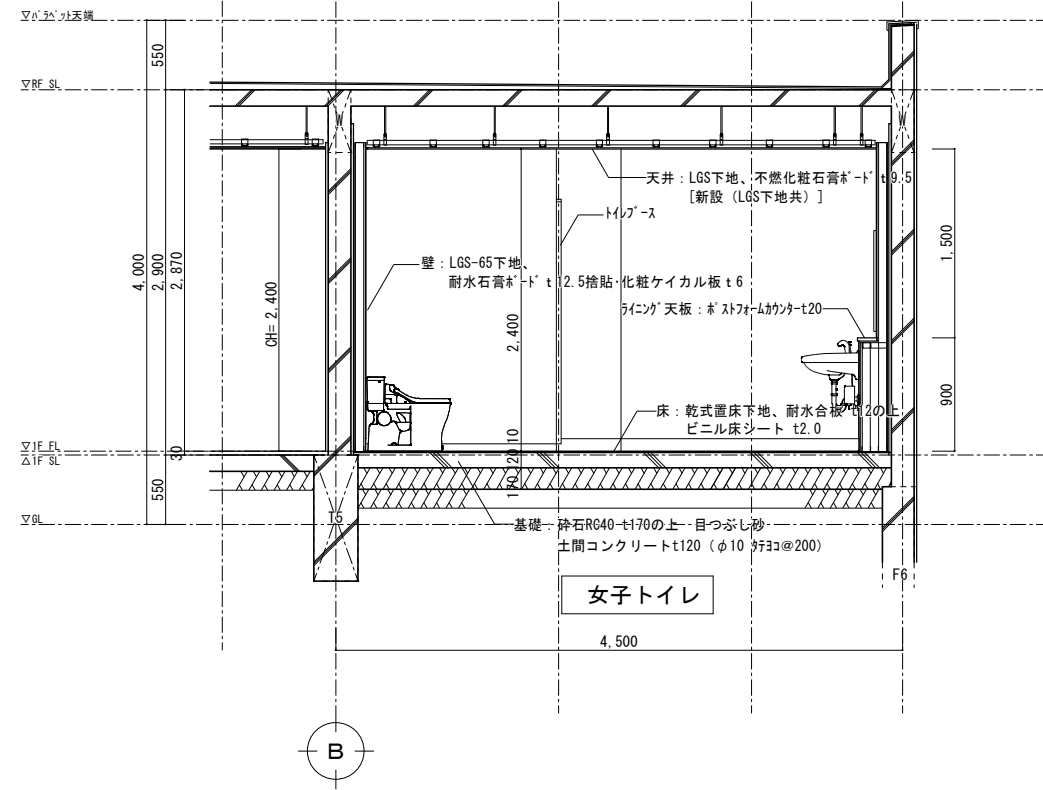
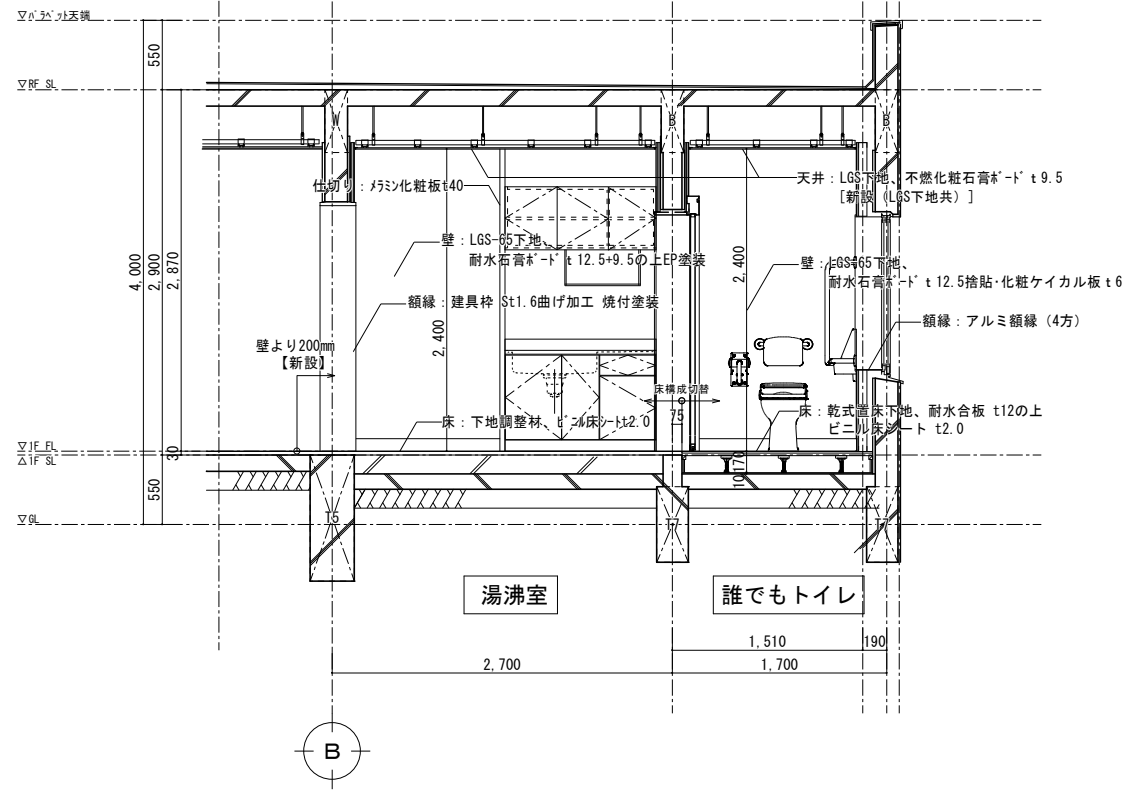
改修後



改修前

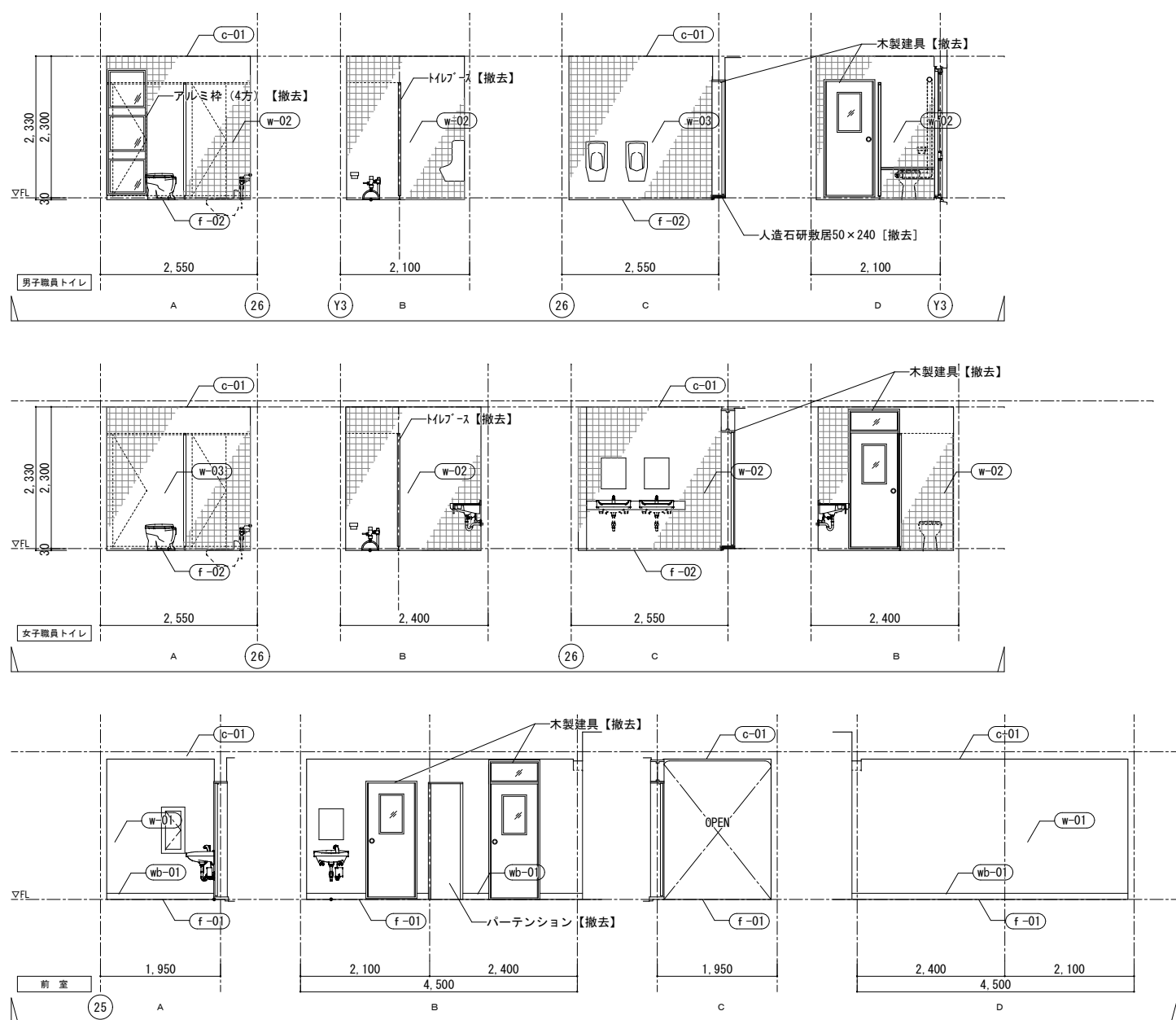


改修後

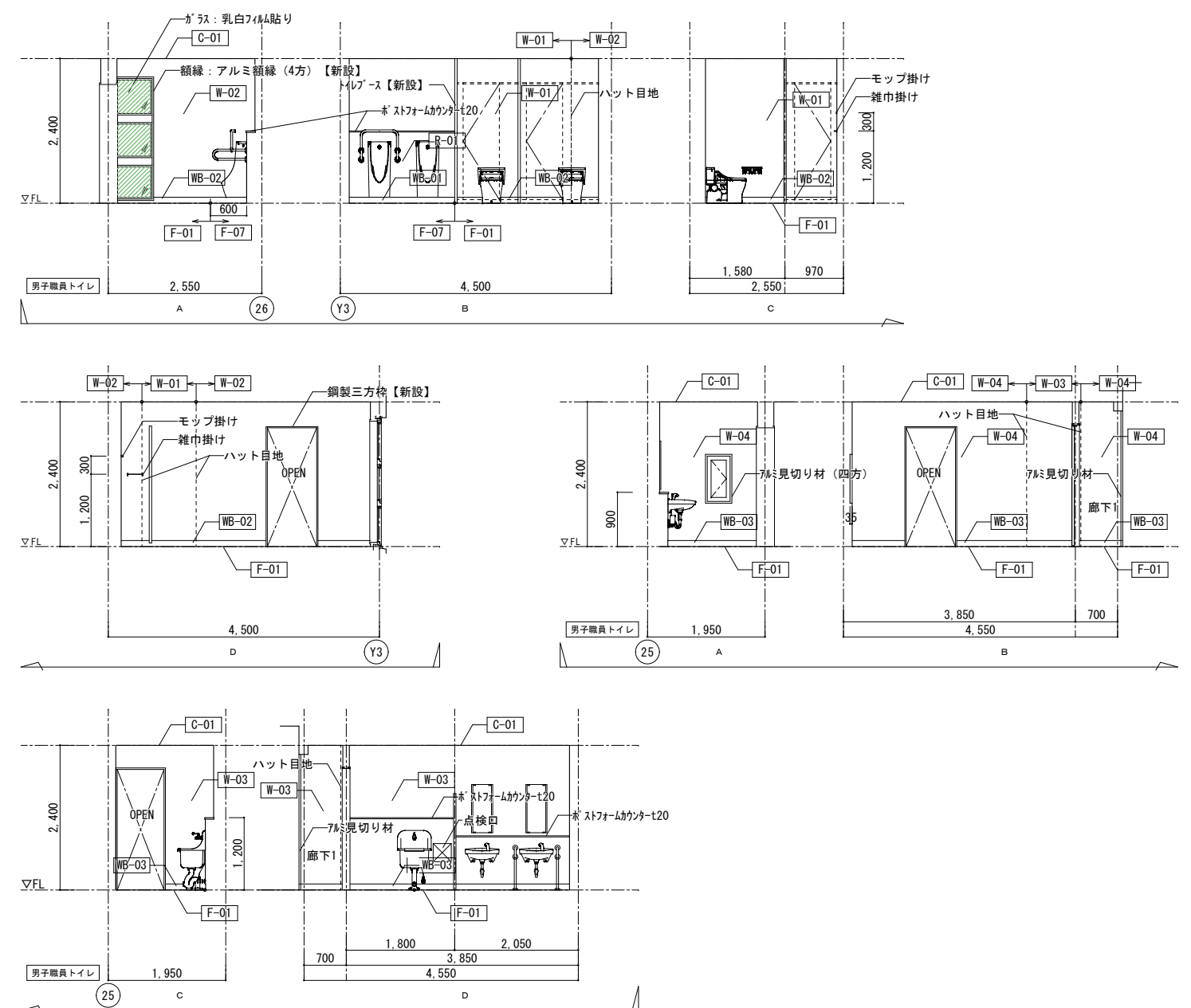


室 名	床				巾 木		腰壁・ライニング		壁				天 井			備 考(本 工 事 含 む) 家具・設備機器等、建具・収納部分等はF☆☆☆☆とする	VOC 測定		
	符号	仕上げ	床高	72バース	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	72バース				
管理 特別 教室 棟	男子職員トイレ	改修前	前室 (f-01)	下地調整の上、ビニルシートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01)	ビニル巾木 h100 【撤去】			(w-01)	RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 【下地共撤去】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】 手洗器、パーテーション、電話機(家具共)	
			男子職員トイレ (f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去】	-30	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt100角貼 【タイル洗浄】			(w-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt100角貼 【タイル洗浄】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 【下地共撤去】			有	【撤去】 小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具 【撤去】 男女トイレ間仕切り壁(LGS下地)	
			女子職員トイレ (f-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去】	-30	無	(wb-02)	モルタル下地の上、磁器質タイルt100角貼 【タイル洗浄】			(w-03)	LGS50、石膏ボード12.5+9.5下地の上 (遮音シート+グラスウールt50) 磁器質タイルt100角貼【下地共撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 【下地共撤去】			有		
	改修後	(F-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(WB-01) (WB-02)	トイレ専用防滑床材仕上げ h100 (小便器前) 床材仕上げ h100	(R-01) (R-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗ウイルス・抗菌・不燃化粧板t3 (小便器前) LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗菌不燃化粧板t3	(W-01) (W-02) (W-03) (W-04)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイルt6.0貼 LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイルt6.0貼 LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装 LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装	(C-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400		ライニング天板：グラスウールt20 トイレ、鋼製建具(三方枠)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り		
廊下 1	改修前	前室 (f-01)	下地調整の上、ビニルシートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01)	ビニル巾木 h100 【撤去】												
	改修後	(F-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(WB-03)	ビニル巾木 h100												

改 修 前

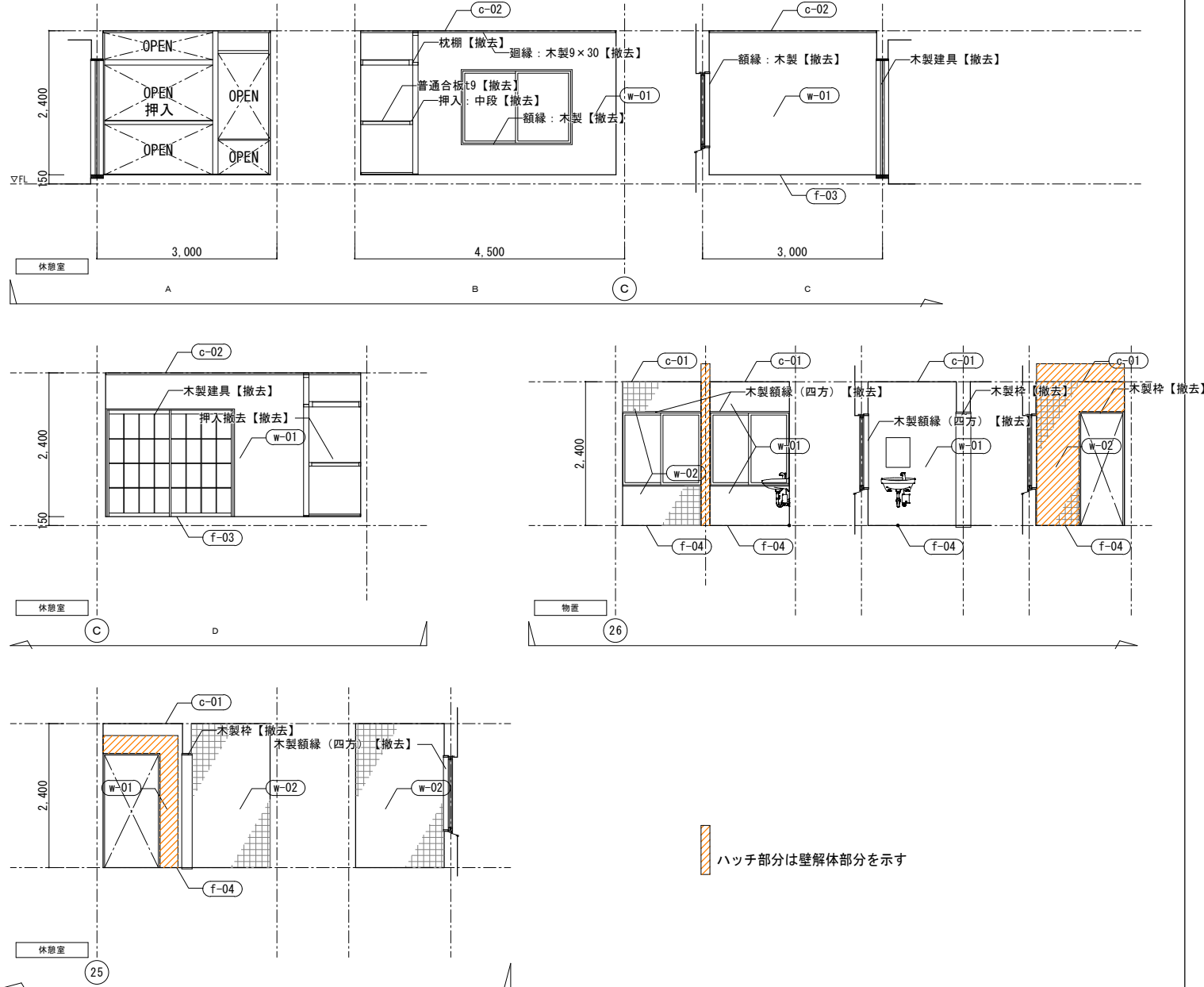


改 修 後

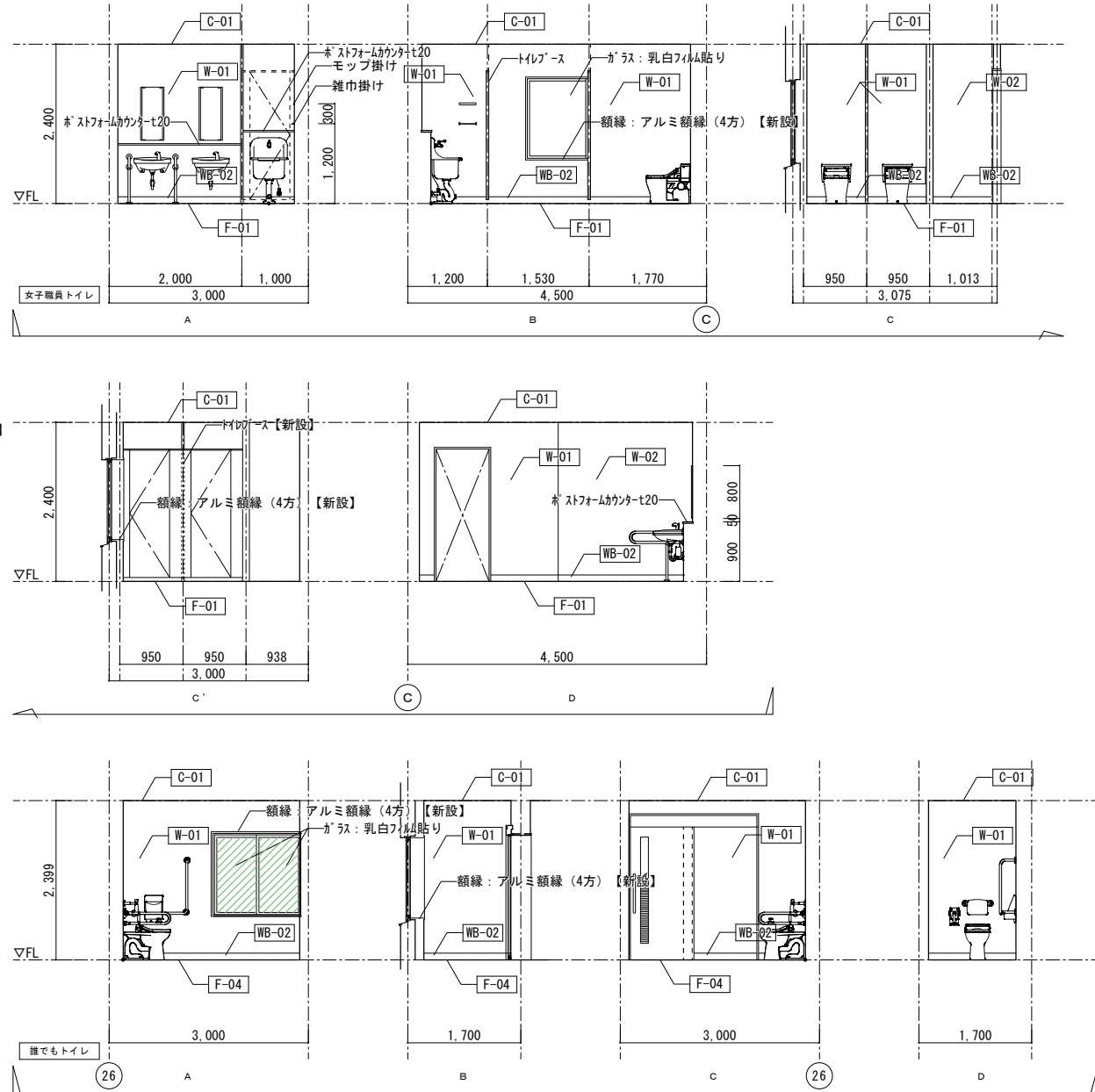


内 部 仕 上 表																	
室 名	床				巾 木		腰壁・ライティング		壁		天 井			備 考 (本 工 事 含 む) 家具・設備機器等、建具・収納部分等はF☆☆☆☆とする	VOC 測定		
	符号	仕上げ	床高	フロア	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁			天井高	フロア
管理 特別 教室	女子職員トイレ	休憩室	(f-03)	床組(根太45×45@455、大引90×90@910)、 合板t12.0の上、フローリング貼t12.0【下地共撤去】	+150	無			(w-01)	RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-02)	LGSの上、天井板張りt5.0貼	廻縁	木製	2.400	無	【撤去】押入、木製額縁、木製建具
		改修後	(f-01)	下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 基礎：砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120	±0		(wb-02)	床材立上げ H100	(r-02)	LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 タシ不燃化粧板t3	(w-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧ケレン板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400	
室 棟	車椅子トイレ	物置	(f-04)	床組の上、合板貼りt12.0 【下地共撤去】	±0	無	(wb-03)	RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】	(w-01)	RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】	(c-01)	LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 【タシ洗浄】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】一部RC壁撤去 【撤去】手洗器、木製建具枠	
		改修後	(f-04)	下地調整材、乾式置床材下地、耐水合板t12.0の上 ビニル床シートt2.0貼	±0		(wb-02)	床材立上げ H100	(w-01)	LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧ケレン板t6.0貼	(c-01)	LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400			

改修前



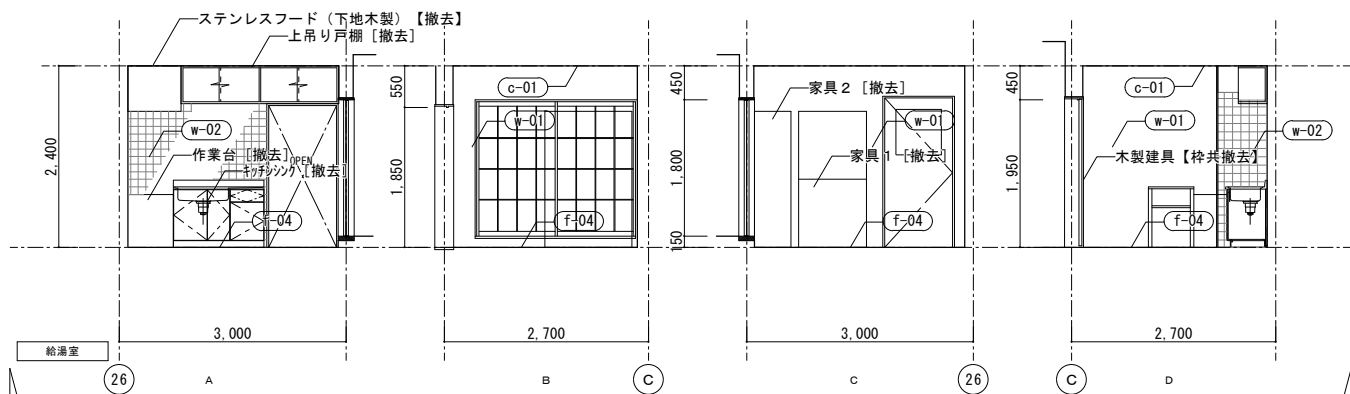
改修後



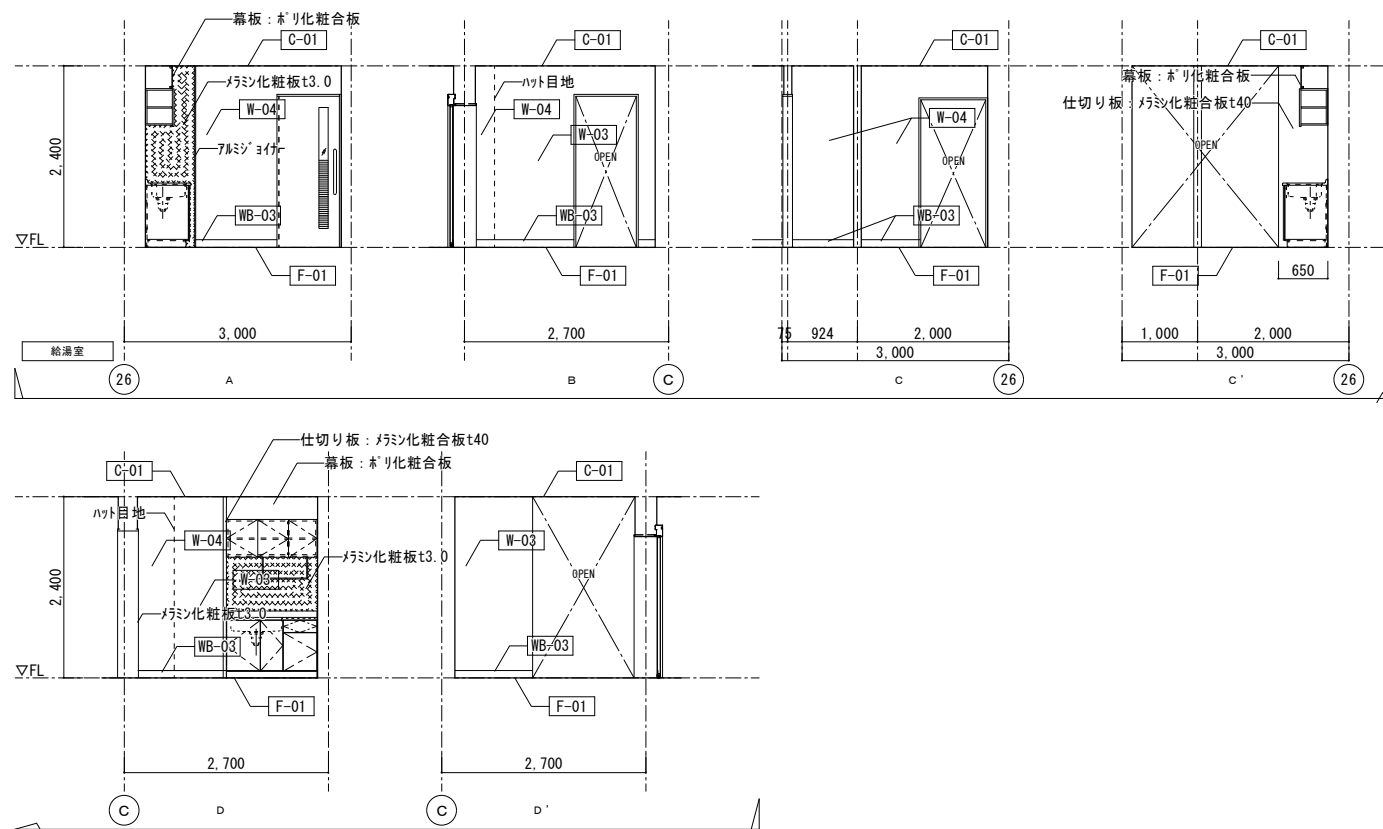
ハッチ部分は壁解体部分を示す

内 部 仕 上 表																		
室 名	床				巾 木				腰壁・ライニング				天 井				備 考 (本 工 事 含 む)	VOC 測定
	符号	仕上げ	床高	フロア	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	フロア			
管理 特別 教室 棟	給湯室	改修前	(f-04) 下地調整の上、CFt2.0貼 【撤去】	±0	無					(w-01) RC打ち放しの上、EP塗装【ケレン撤去】 (w-02) モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】	(c-01) LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 【下地共撤去】	塩ビ製	2.400	有	【撤去】 キッチンL=1200、作業台(W600×H800×D550) 【撤去】 上吊り収納 (W2000×H500×D380) 【撤去】 家具1 (W900×H1800×D500) 【撤去】 家具2 (W1050×H1800×D420)			
		改修後	(f-01) 下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(wb-03) ビニル巾木 h100			(w-03) LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装 (w-04) LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5+9.5の上、 EP-G塗装	(c-01) LGS-65下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.400		タリシ化粧板T=3.0mm L=1,200、仕切り板t40 キッチン 枠t3.0(タリシ)イキ見切り 手摺、ステンレス製床見切り				

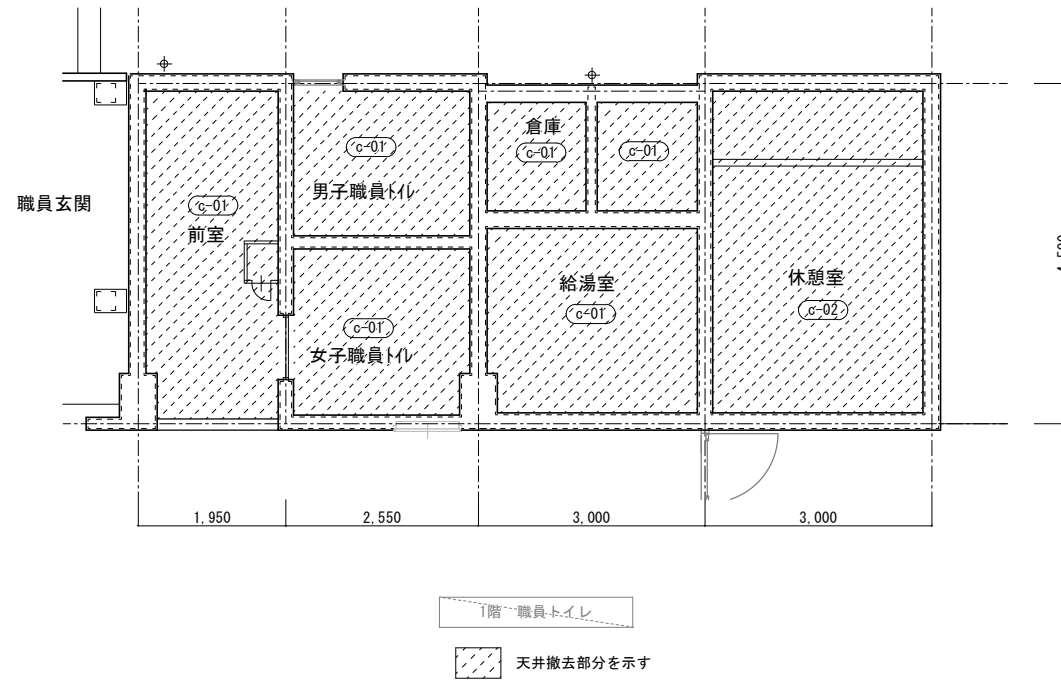
改修前



改修後



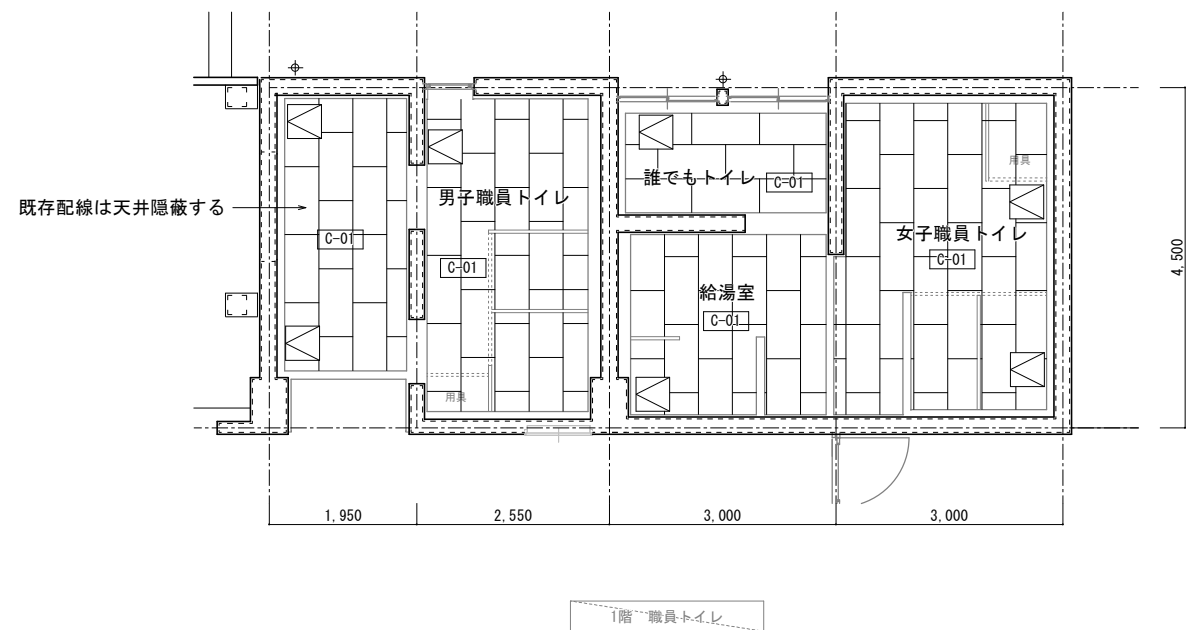
改修前



凡例

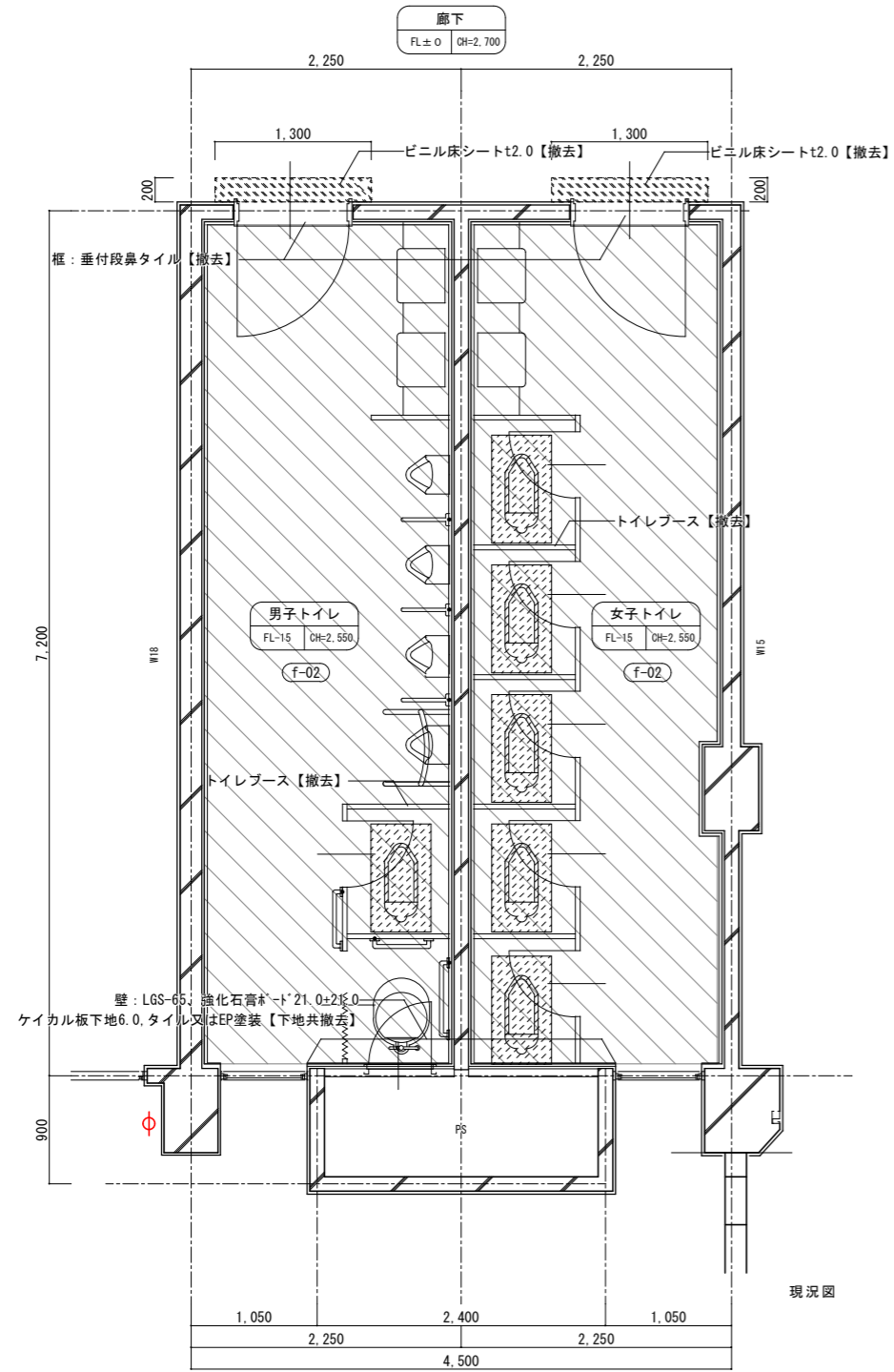
記号	仕上 げ	改修内容	廻縁
C-01 7スチール有	LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板 t4.0 EP塗装 【下地共撤去】	撤去 (LGS下地共)	塩ビ製：撤去
C-02	LGSの上、板張り t5.0貼	撤去 (LGS下地共)	木製：撤去
C-03	LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 石膏ボード t12.5 目透かし貼 EP塗装	撤去 (LGS下地共)	塩ビ製：撤去

改修後

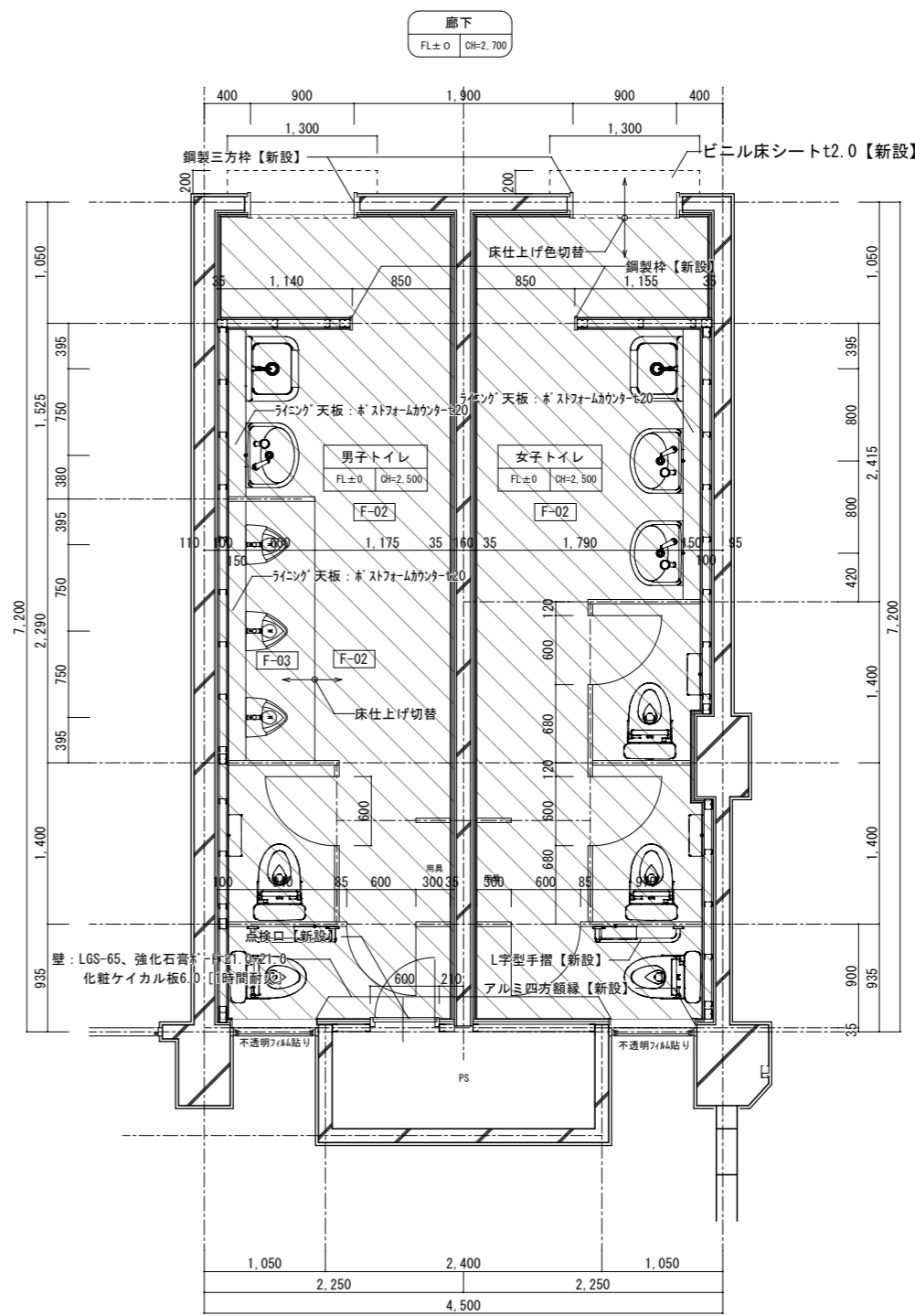


凡例

記号	仕上 げ	改修内容	廻縁
C-01	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5	新設 (LGS下地共)	塩ビ製：新設
□	天井点検口：450×450	新設 ※取付位置は、機械・電気設備と調整すること。 ※廊下に取り付ける点検口は、各階平面図を 参照すること。	

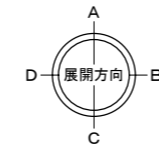
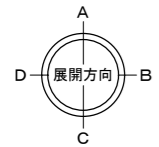


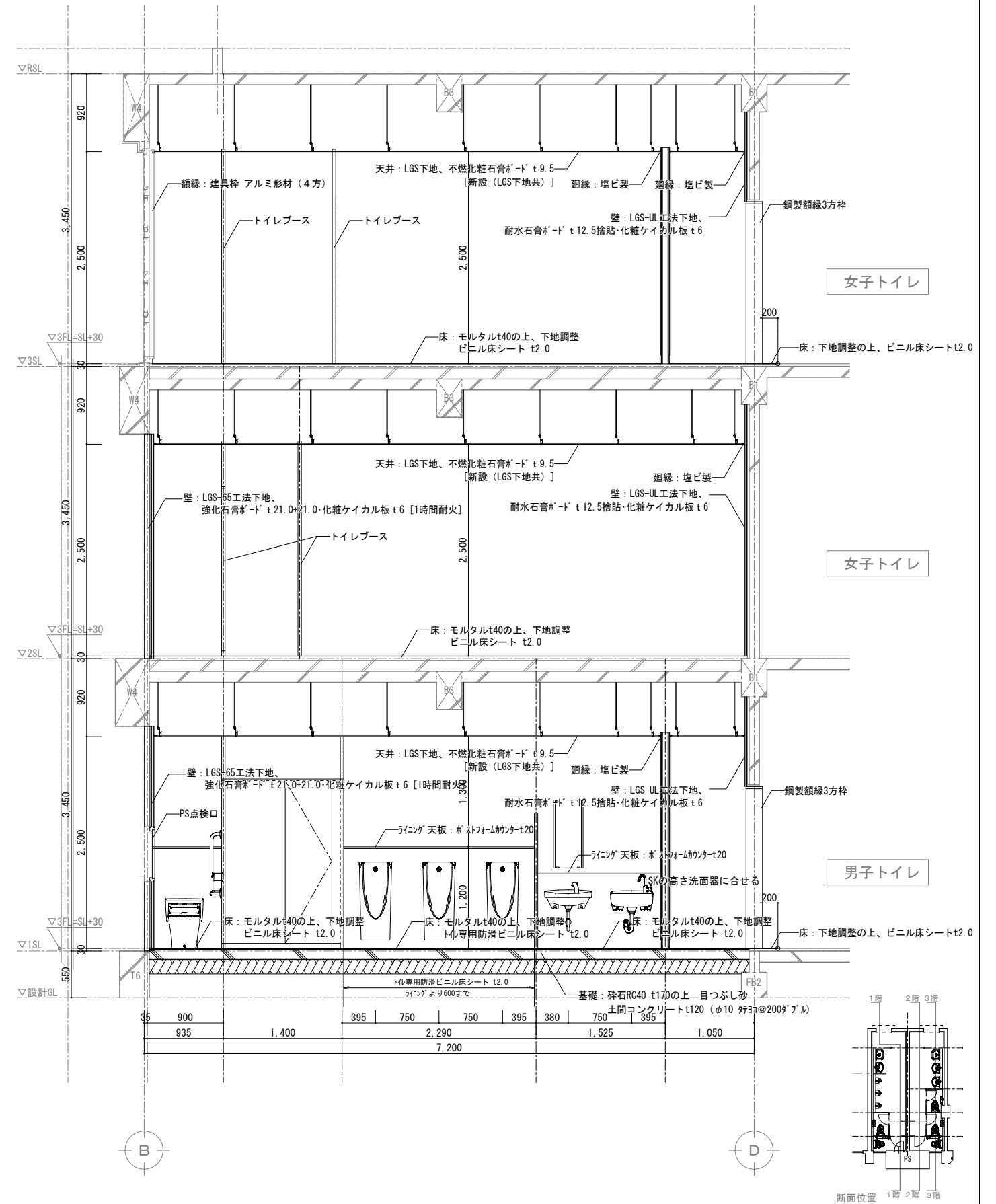
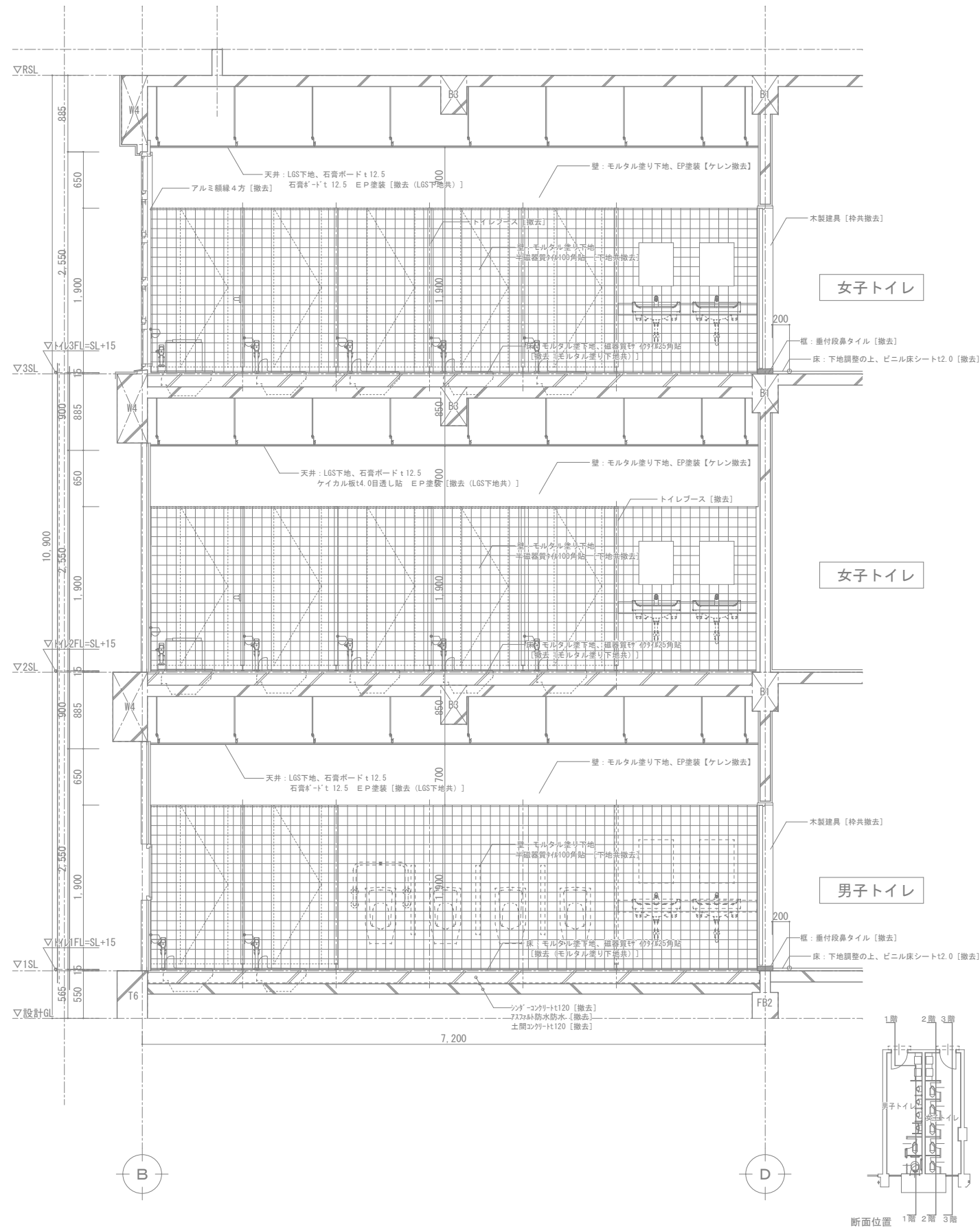
現況図

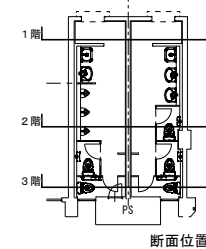
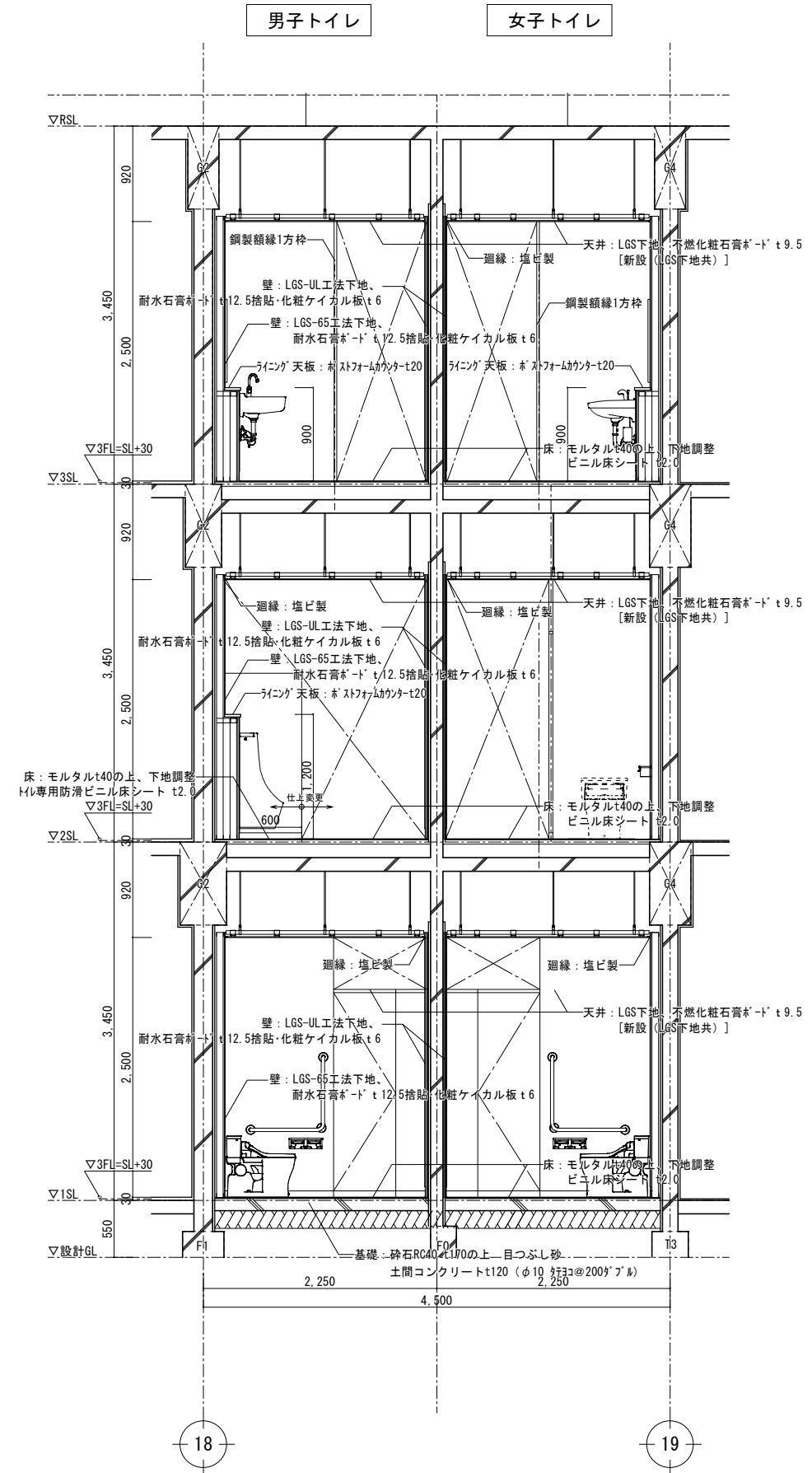
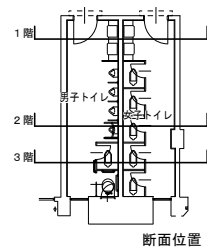
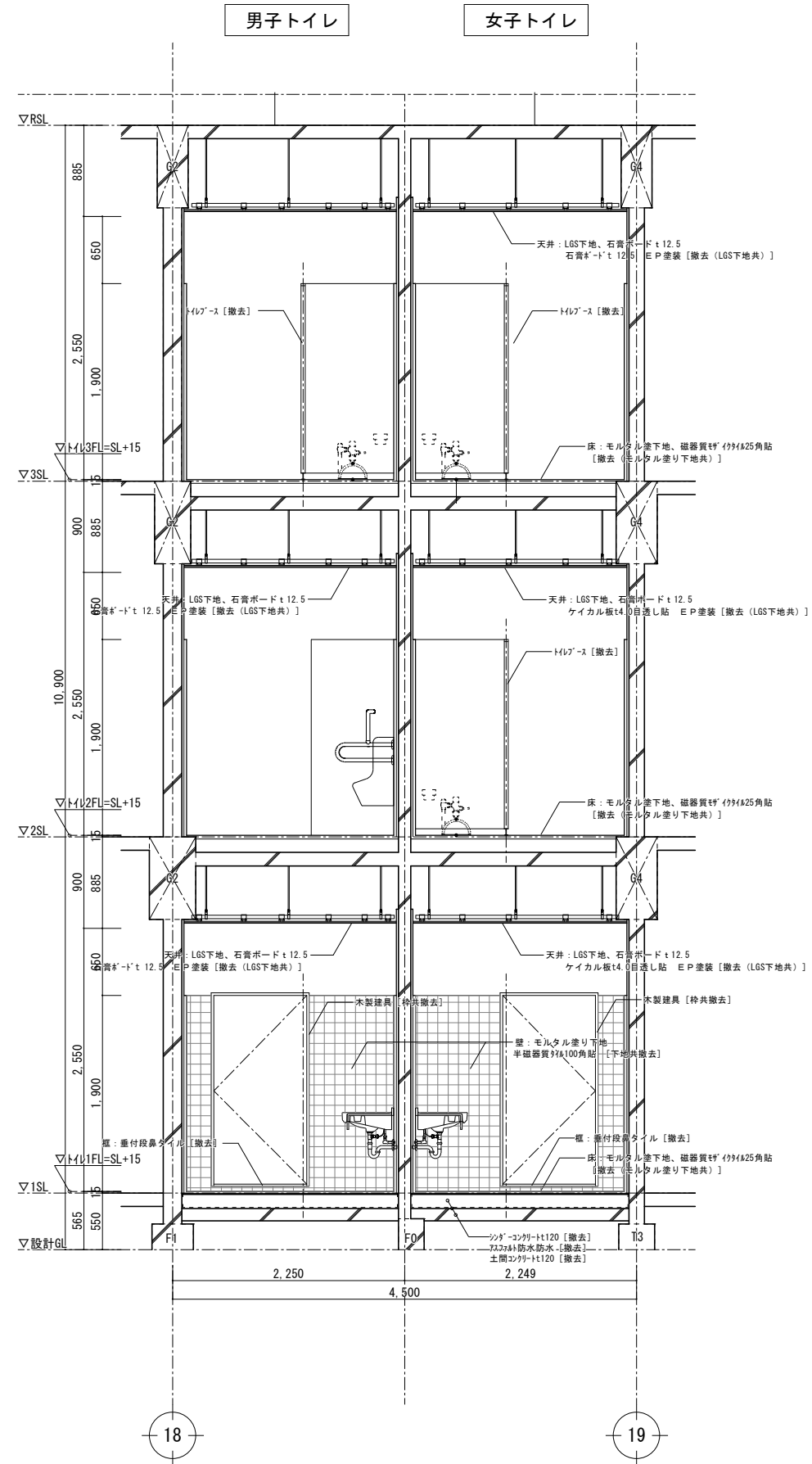


- 凡例
- : 土間スラブ新設部分 (1階部分のみ) (t120 φ975@200) 4周地中梁にケムカワコー@200

- 凡例
- : 和便器閉鎖部分を示す
 - : 廊下 ビニル床タイル撤去部分
 - : 土間スラブ撤去部分 (1階部分のみ) (t120 φ975@200)

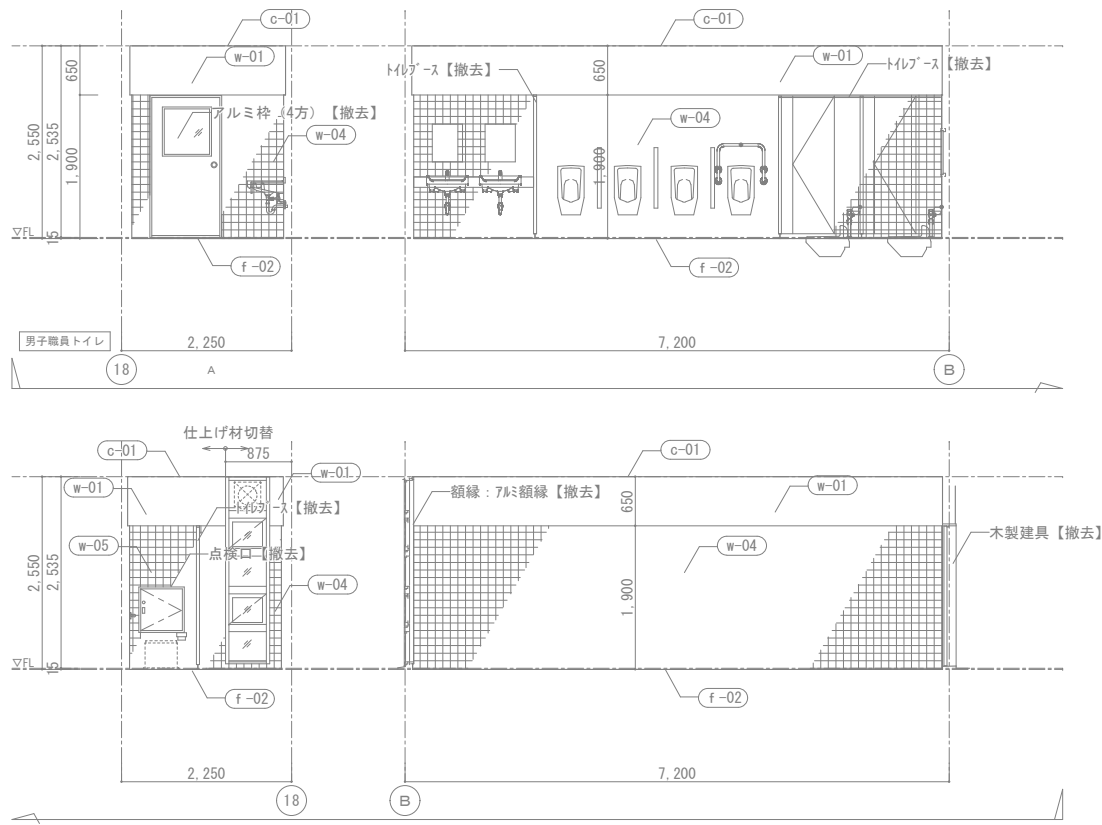




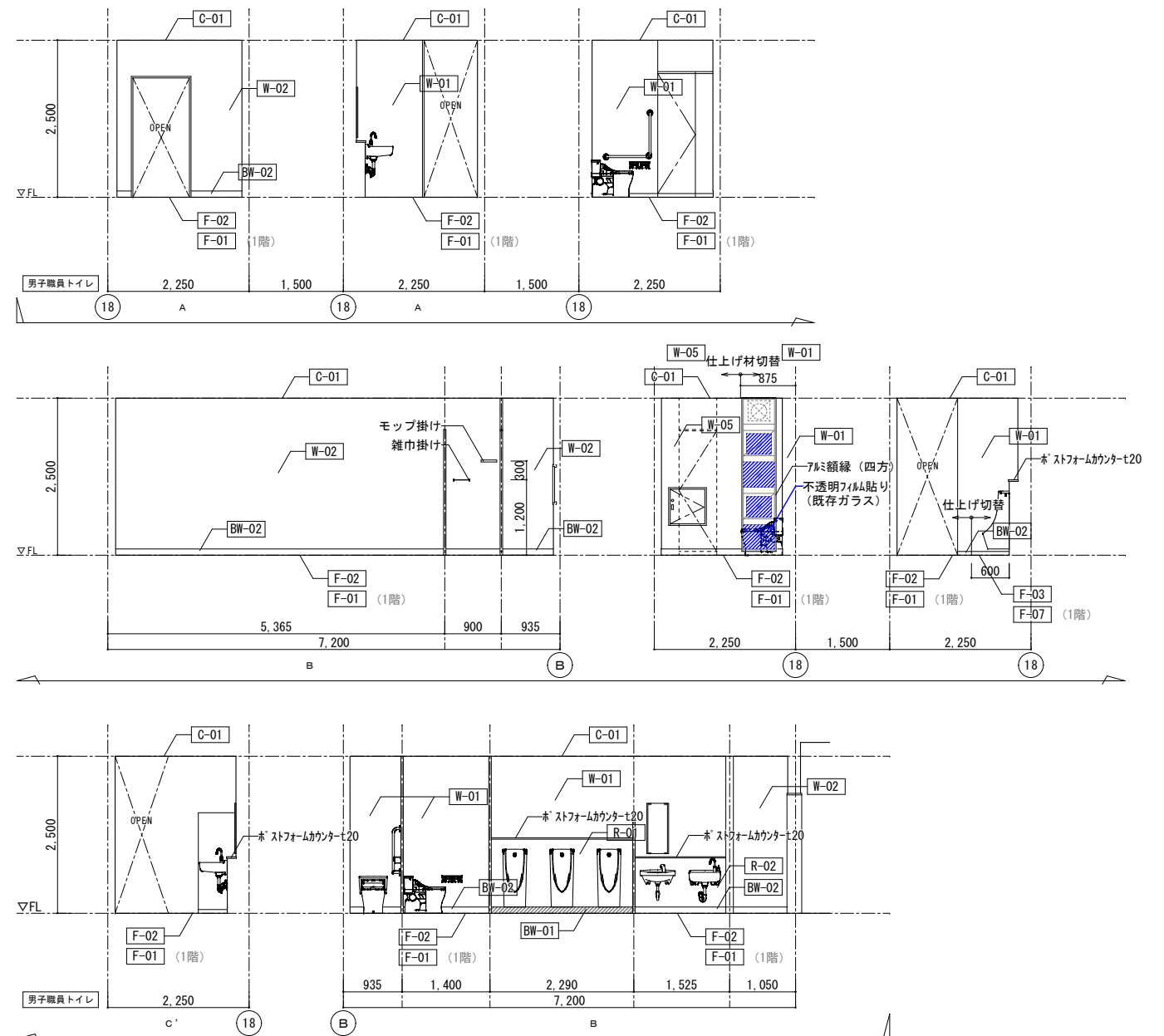


室 名	床				巾 木				腰壁・ライニング				壁				天 井				備 考(本 工 事 含 む) 家具・設備機器等、建具・収納部分等はF☆☆☆☆とする	VOC 測定
	符号	仕上げ	床高	7/100ス	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	7/100ス					
普通 教室 棟	男子トイレ	改修前	(f-02) モルタル下地の上、磁器質タイル25角貼 【下地共撤去】	-15	無	(wb-02) モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【タイル洗浄】			(w-01) モルタル下地の上、EP塗装【ケレン撤去】 (w-04) モルタル下地の上、磁器質タイル100角貼 【下地共撤去】 (w-05) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 磁器質タイル100角貼【下地共撤去】 (w-06) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 EP塗装【下地共撤去】	(c-03) LGS・石膏ボードt12.5下地の上、 石膏ボードt12.5 EP塗装	塩ビ製	2.550	無	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具								
		改修後 (1階)	(f-01) 下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 (f-07) 下地調整材の上、トイレ専用防滑ビニル床シートt2.0貼(小便器前) 基礎：砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120			(WB-01) トイレ専用防滑床材立上げ h100(小便器前) (WB-02) 床材立上げ h100	(R-01) LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 抗ケイ酸系不燃化粧板t3(小便器前) (R-02) LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 ケイ酸系不燃化粧板t3	(W-01) LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイルt6.0貼 (W-02) LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイルt6.0貼 (W-05) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 化粧タイルt6.0貼	(C-01) LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.500		ライニング 天板：ホースフォームカウンターt20 トイレバス、鋼製建具(一本杵、三方杵)、天井点検口 掃除用具(モップ掛け、雑巾掛け) 手摺、ステンレス製床見切り、PS点検口									
		(2,3階)	(f-02) モルタルt40の上、下地調整材 (f-03) ビニル床シートt2.0貼 モルタルt40の上、下地調整材 トイレ専用防滑ビニル床シートt2.0貼(小便器前)																			
廊下	改修前	(f-01) 下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01) ビニル巾木 h100【撤去】																	
	改修後	(f-01) 下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(WB-03) ビニル巾木 h100																	

改 修 前

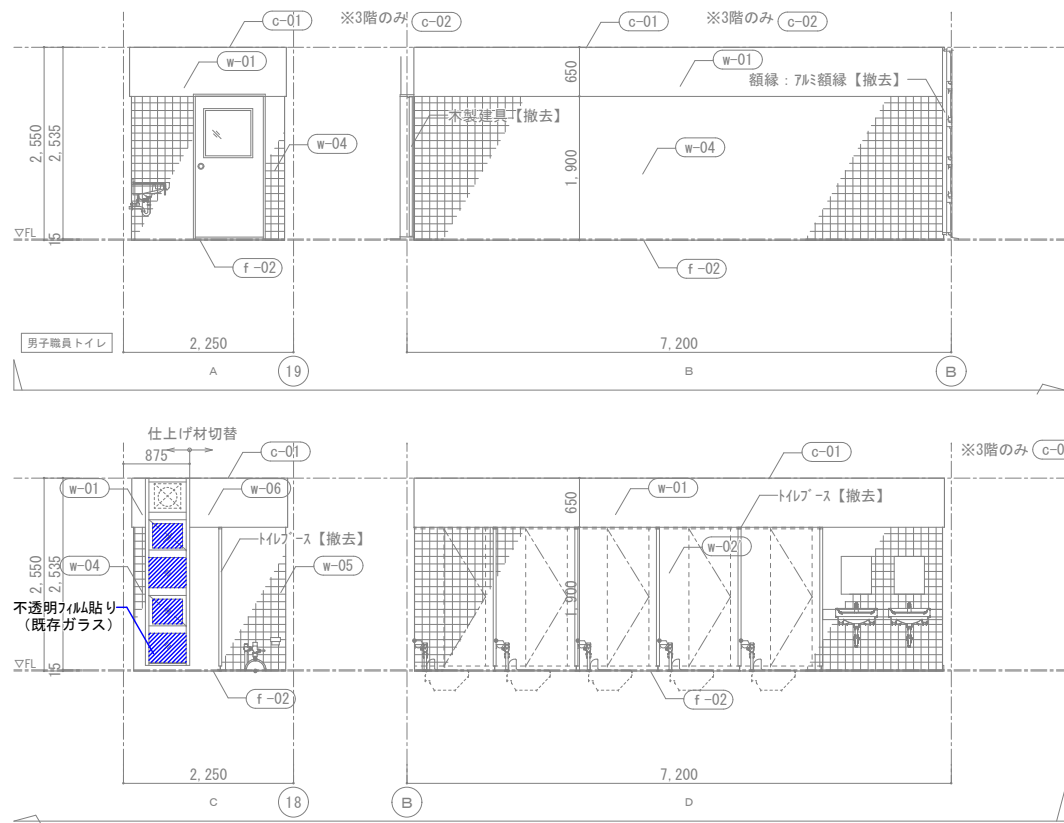


改 修 後

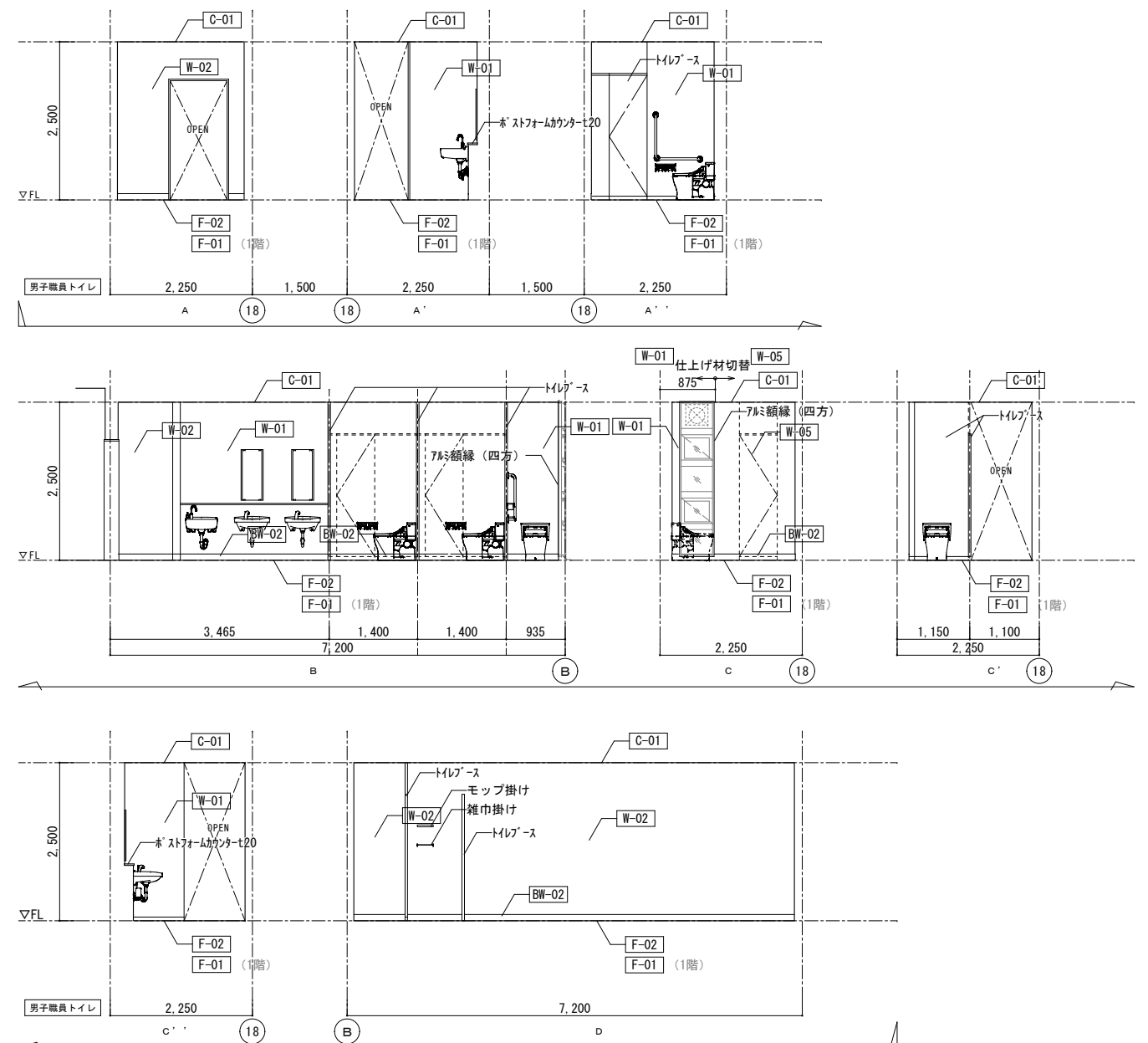


室 名	床				巾 木		腰壁・ライニング		壁		天 井			備 考(本 工 事 含 む) 家具・設備機器等、建具・収納部分等はF☆☆☆☆とする	VOC 測定
	符号	仕上げ	床高	7mmスト	符号	仕上げ	符号	仕上げ	符号	仕上げ	廻縁	天井高	7mmスト		
普通 教室 棟	女子トイレ	改修前	(f-02) モルタル下地の、磁器質タイルt25角貼 【下地共撤去】	-15	無	(wb-02) モルタル下地の、磁器質タイル100角貼 【下地共撤去】			(w-01) モルタル下地の、EP塗装【ケレン撤去】 (w-04) モルタル下地の、磁器質タイル100角貼 【下地共撤去】 (w-05) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 磁器質タイル100角貼【下地共撤去】 (w-06) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 EP塗装【下地共撤去】	(c-01) LGS・石膏ボードt12.5下地の、 (1.2階) ケイ酸カルシウムt4.0 EP塗装 (c-03) LGS・石膏ボードt12.5下地の、 (3階) 石膏ボードt12.5 EP塗装	塩ビ製	2.550	有	【撤去】小便器、大便器、手洗い、鏡、木製建具	
		改修後	(F-01) 下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼 基礎：砕石RC40 t170、目つぶし砂の上 土間コンクリートt120 (F-02) モルタルt40の上、下地調整材 ビニル床シートt2.0貼			(WB-02) 床材立上げ h100	(R-02) LGS-65下地、耐水合板t12+12の上 クッション不燃化粧板t3	(W-01) LGS-65下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル貼t6.0貼 (W-02) LGS-UL下地、耐水石膏ボードt12.5の上、 化粧タイル貼t6.0貼 (W-05) LGS-65下地、強化石膏ボードt21.0+21.0の上、 化粧タイル貼t6.0貼	(C-01) LGS下地、化粧石膏ボードt9.5貼	塩ビ製	2.500		ライニング天板：ホストフォームカウンターt20 トイレ・ス、鋼製建具（一本枠、三方枠）、天井点検口 掃除用具（モップ掛け、雑巾掛け） 手摺、ステンレス製床見切り		
廊下		改修前	(f-01) 下地調整の上、ビニル床シートt2.0貼 【撤去】	±0	無	(wb-01) ビニル巾木 h100【撤去】									
		改修後	(F-01) 下地調整材の上、ビニル床シート t2.0貼	±0		(WB-03) ビニル巾木 h100									

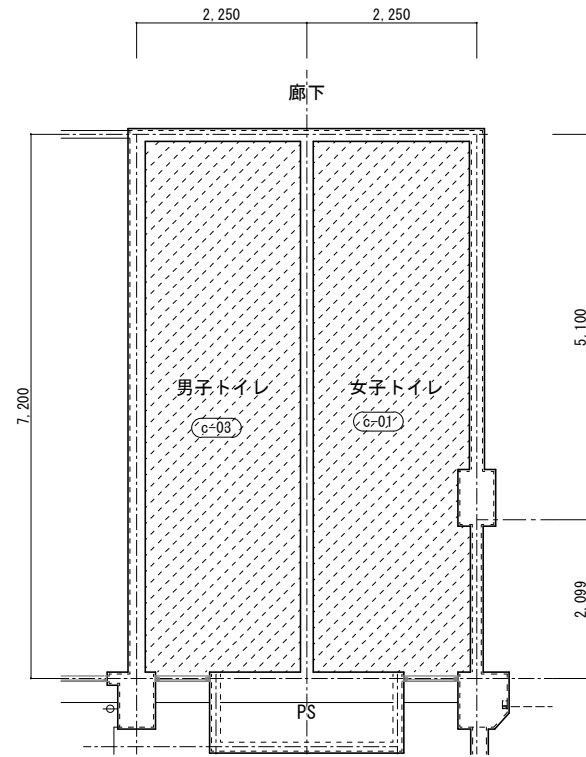
改 修 前



改 修 後

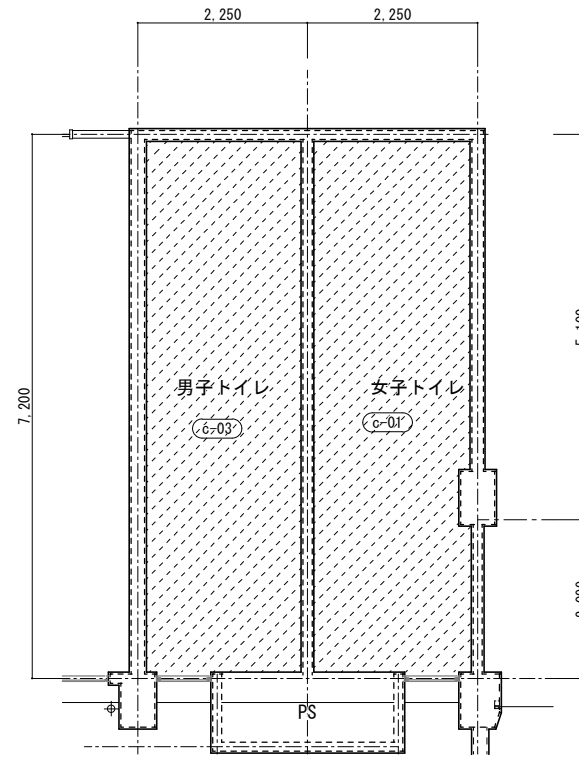


改修前



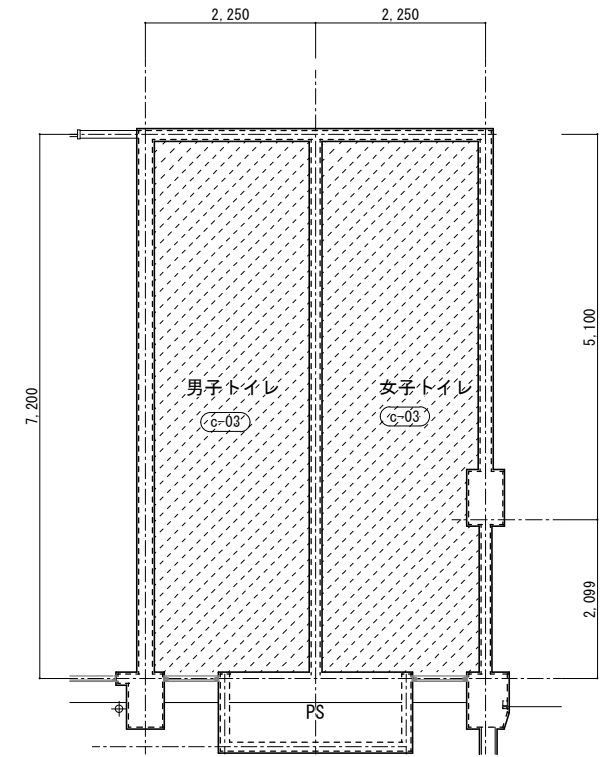
管理特別教室棟--男女トイレ.1階

天井撤去部分を示す



管理特別教室棟--男女トイレ.2階

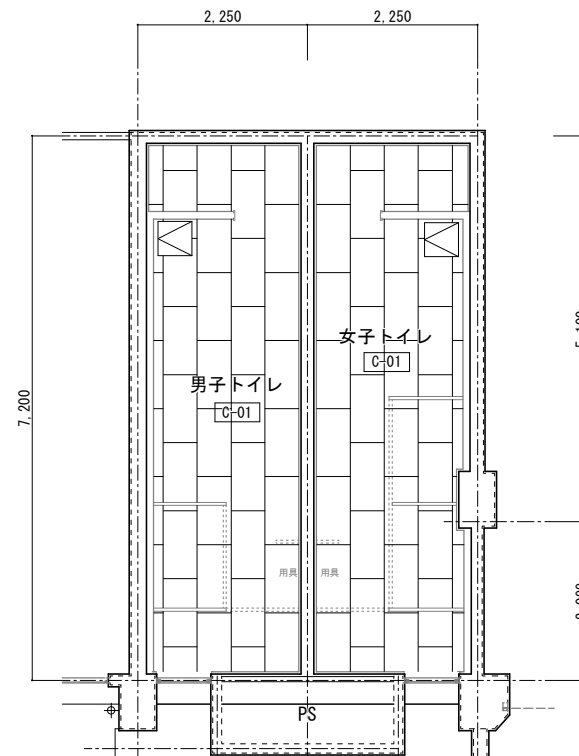
天井撤去部分を示す



管理特別教室棟--男女トイレ.3階

天井撤去部分を示す

改修後



管理特別教室棟--男女トイレ.1~3階

凡例

記号	仕上り	改修内容	廻縁
c-01 7ス ^ハ ス有	LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 ケイ酸カルシウム板t4.0 EP塗装 【下地共撤去】	撤去 (LGS下地共)	塩ビ製: 撤去
c-02	LGSの上、板張り t5.0貼	撤去 (LGS下地共)	木製: 撤去
c-03	LGS・石膏ボード t12.5下地の上、 石膏ボード t12.5 目透かし貼 EP塗装	撤去 (LGS下地共)	塩ビ製: 撤去

凡例

記号	仕上り	改修内容	廻縁
C-01	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5	新設 (LGS下地共)	塩ビ製: 新設
△	天井点検口: 450×450	新設 ※取付位置は、機械・電気設備と調整すること。 ※廊下に取り付ける点検口は、各階平面図を参照すること。	

春日部市
学校教育課
教育施設課

工事名称 豊春中学校校舎トイレ改修工事

図面名称 管理普通特別教室棟 トイレ天井伏図 (改修前・改修後)

図面No. A-30

建具凡例及び共通指定事項

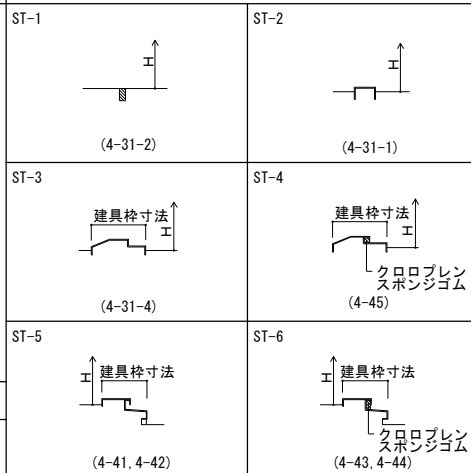
本表は建具に掛ける凡例及び共通指定事項を示す。

建具符号
建具番号

建具符号

查摺の形状と符号

AW アルミサッシ (特記なき限り見込み70mmとする。)
 AD アルミドア (特記なき限り見込み70mmとする。)
 AG アルミガラリ (特記なき限り見込み70mm、開口率40%とする。)
 SSD ステンレス製ドア
 SD 鋼製ドア (特記なき限り扉見込み40mmとする。)
 SF 鋼製枠
 AF アルミ枠
 LSD 軽量鋼製ドア (特記なき限り扉見込み40mmとする。)
 WD 木製ドア (特記なき限り扉見込み36mmとする。)
 PT パーテーション
 TB トイレブース
 PF 樹脂製枠



仕上符号

SOP 合成樹脂ペイント塗
 CL クリアラッカー塗
 OS オイルステイン塗
 mip 多彩模様塗料吹付
 UP ウレタン系樹脂ペイント塗
 M-BE メラミン系塗料焼付
 E-BE エポキシ系塗料焼付
 A-BE アクリル系塗料焼付
 NO.4 ステンレスNO.4
 BA ステンレス鏡面(パフ)仕上
 HL ステンレスヘアライン仕上
 DP 耐候性塗料 (外部鉄部)

建具の性能

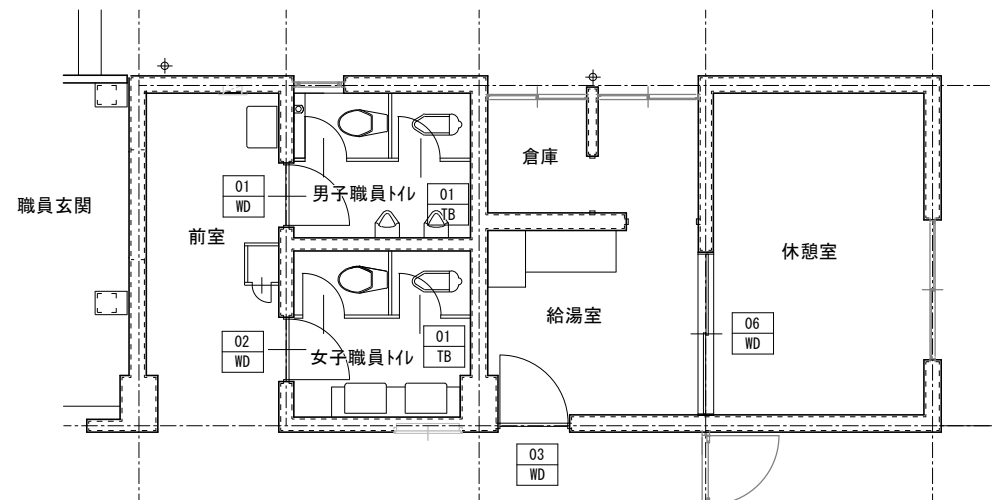
耐風圧性 : 等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7
最大加圧圧力 (Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600
気密性 : 等級	A-1		A-2		A-3		A-4
気密性等級線	A-1等級線		A-2等級線		A-3等級線		A-4等級線
水密性 : 等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5		
圧力差 (Pa)	100	150	250	350	500		
遮音性 : 等級	T-1		T-2		T-3		T-4
遮音等級線	T-1等級線		T-2等級線		T-3等級線		T-4等級線
断熱性 : 等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5		
熱貫流抵抗値 (m ² ・K/W)	≥0.125	≥0.246	≥0.287	≥0.344	≥0.430		
内面変形追随性 : 等級	D-1		D-2		D-3		
内面変形角	1/300rad		1/150rad		1/120rad		

※水密性については、25m(概ね8F)以上に設置する引違窓については1,000Pa以上とする。

■ 特記事項

- 建具の開き勝手は、平面詳細図及び平面図による。
- 戸当り取付位置(床付け、壁付け)は、現場指示とする。
- アルミサッシ引違窓には特記なき限り(外部に面する部分に限る)可動網戸付とする。(合成樹脂網、枠は建具に準じる)
- サッシ腰のアルミ膳板、アルミ額縁は見付け25mmとし、膳板には結露受けをつけることとする。
- 外部アルミサッシ、アルミガラリにはアルミ水切りをつける。
- 建築金物錠の材質は、ステンレスとする。
- 錠は、グランドマスターに合わせてマスターキーを作成し、キープランを決定すること。
PS、EPS等、維持管理に使用する扉は共通キーとする。監督員と協議の上決定とする。
- キーボックスは、必要な個数の入るものを事務室に設ける。
- アルミサッシには標準金物一式を取り付けるものとする。
- 現場寸法を確認し、施工図を作成すること。

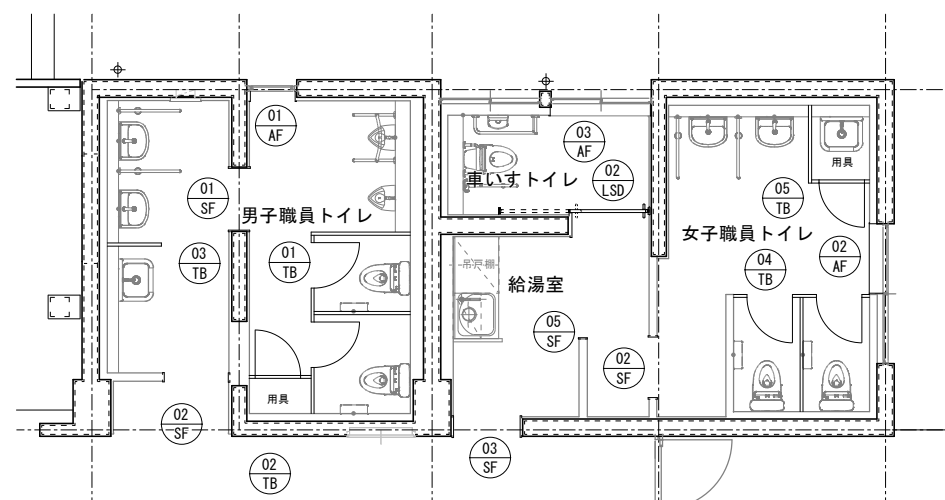
改修前



凡例

- 00 WD 木製ドア
- 00 SD スチールドア
- 00 TB トイレブース

改修後



凡例

- 00 LSD 軽量スチールハンガードア
- 00 SD スチールドア
- 00 SF スチール枠
- 00 AF アルミ枠
- 00 TB トイレブース